



名古屋芸術大学

後援会報

第47号 2009年9月30日発行

ごあいさつ



後援会長
菅沼 行生

一生一回の今、
この時

学生の皆さん、4月から今日までどのような日々を過ごされたでしょうか。

きっと「あっという間に過ぎてしまった」と思われていることでしょう。日々の生活が充実していれば、月日の経過は余計に速く感じます。

たとえ長く感じて短く感じて19歳の10月は一生に一回です。22歳の10月も一生に一回です。そう考えると常に一生に一回の今、この時がいとおしく感じられることでしょう。若い頃は何をしても無駄になることはないと思います。

ぜひ自分を磨いて、自分を高めるために、時間やお金を使ってほしいと思います。自分の考え方を深め広げるために、自分の持っている技能・技術を高めるために、一生一回の今を使ってみてはどうでしょうか。

常に心のアンテナを広げ、一生に一回の今を楽しんでいる方もいるでしょう。今を大切に、これから卒業までの日々が一層充実することを願っています。

保護者の皆さん、日頃は、後援会へのご支援をありがとうございます。お子様の大学生活は充実していますでしょうか。もしお困りのことがあれば、後援会報の内容がお役に立つと思います。お困りのことがあってもなくても、じっくりお読みください。

さて、保護者の方はお子様と接する時間が限られています。お子様が21歳時の10月は一生に一回です。そう考えると、親としてお子様の学生生活をほとんど知らずに過ごすのはもったいない気がします。芸術大学に在籍するこの時期に、お子様と一緒に文化・芸術に触れられてはいかがでしょうか。本学には、保護者の方が参観できる様々な展覧会や発表会等が予定されております。

日頃、文化・芸術に触れる機会の少ない方もいらっしゃると思います。慌ただしいときこそ本学が取り組む先進的な文化・芸術に触れてみてはいかがでしょうか。学生と共に親も心豊かに生活できると思います。

本年度も、大学・後援会ともよろしく願い申し上げます。



学 長
榊 達雄

地域に根ざし
世界を目指す

名古屋芸術大学後援会役員の皆様をはじめ保護者の皆様には、日頃から本学の教育および学生の生活充実のために、暖かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

世界的な経済不況は、わが国の教育の現場にも様々な形で影響が現れています。例えば、けがをしても保険証がないために病院に行けない子ども、父親が職を失ったために、高校の授業料を払えなくなり、退学した高校生等の事例が報告されています。

他方、わが国の教育への公的支出はOECD諸国の中で最も低く、奨学金制度では、欧米諸国では給付制が主流ですが、わが国では国の奨学金はすべて返済制で、しかも利子付きのものが増えています。

高校授業料が有料であるのはOECD諸国の中で日本、韓国、イタリア、ポルトガルの4カ国だけあります。近年高校授業料の無償化、給付制奨学金の創設の要求が高まっています。名古屋芸術大学には、独自に家庭に緊急自体が生じた学生に対する援助、経済的困難な学生に対する後援会による資金貸与等の援助の制度がありますが、やはり公的な奨学金制度等の充実が望まれます。

ところで、名古屋芸術大学は、誠実に芸術や真理を探究し、もって社会に貢献する、という建学の精神を踏まえ、地域の地方自治体（北名古屋市、小牧市等）と協定を結び、文化事業等について提携していますが、愛知県との場合では、愛知トリエンナーレや地域文化芸術振興プラン推進事業「あいちアートの森」の計画に協力しています。

今後とも本学は、このように地域に根ざすとともに、世界に開かれた大学として、本学の独自性を生かした特色を発揮・充実に努めていく所存です。

2009年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2009年5月17日(日) 13時より、東キャンパス1号館701教室にて「2009年度名古屋芸術大学後援会定期総会」が開催されました。定期総会終了後には、例年通り大学の主催で「教育懇談会」が開催され、各学部に分かれた会場内では、活発な質問、意見交換がされました。

2008年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月11日	2008年度後援会定期総会事前打合せ 2008年度後援会定期総会	西キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
5月28日 ～31日	イギリス プライトン大学ディグリーショウ 後援会副会長他大学関係者参加	イギリス
6月19日	後援会より補助金各学部一括交付	
6月28日	第1回役員会(所属委員会決定)	大須
7月12日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月30日	名古屋芸術大学後援会報第45号発行	
10月18日 ～19日	後援会研修旅行 1泊2日	京都府
10月25日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
12月3日	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月17日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	金山
2月21日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
2月27日	プライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急ホテル
3月31日	名古屋芸術大学後援会報第46号発行	
3月24日	卒業式参列 (会長・副会長(総務委員長))	中京大学 文化市民会館
3月24日	謝恩会出席(会長・役員)	名古屋マリオット アソシアホテル
4月4日	入学式参列 (2008年度会長、副会長(総務委員長))	西キャンパス
4月15日	2008年度会計監査(2008年度監査2名)	西キャンパス
4月18日	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行いました。	



2009年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月17日	2009年度後援会定期総会事前打合せ 2009年度後援会定期総会	東キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月2日 ～6日	イギリス プライトン大学ディグリーショウ 後援会副会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金各学部一括交付	
6月27日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月11日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月下旬	名古屋芸術大学後援会報第47号発行	
10月17日 ～18日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月31日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月16日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月20日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	
3月上旬	プライトン大学賞表彰式(会長)	
3月31日	名古屋芸術大学後援会報第48号発行	
3月20日	卒業式参列 (会長・副会長(総務委員長))	中京大学 文化市民会館
3月20日	謝恩会出席(会長・役員)	
4月上旬	入学式参列 (2009年度会長、副会長(総務委員長))	西キャンパス
4月中旬	2009年度会計監査(2009年度監査2名)	西キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行う予定です。	

■2008年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

1. 一般会計

2008. 4. 1～2009. 3. 31 単位：円

収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	5,289,068	5,289,068	0	
会 費 収 入	27,300,000	27,924,000	-624,000	
特別会計より組入	300,000	300,000	0	福祉基金会計からの 資金移動
受 取 利 息	20,000	19,716	284	
手数料他収入	200,000	155,410	44,590	任意保険手数料
合 計	33,109,068	33,688,194	-579,126	

支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	600,000	142,763	457,237	
旅 費・交通費	400,000	223,320	176,680	
会 議 費	550,000	521,551	28,449	
事務費・用品費	220,000	172,103	47,897	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	40,750	59,250	
渉 外 費	750,000	612,000	138,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	650,000	710,892	-60,892	
(総務関係合計)	3,270,000	2,423,379	846,621	
芸大祭補助	3,700,000	3,700,000	0	
クラブ補助	7,300,000	7,300,000	0	前年度繰越金含む
就職活動補助	4,009,058	4,008,508	550	前年度繰越金含む
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	500,000	500,000	0	
国際交流補助	1,049,157	989,922	59,235	前年度繰越金含む
公開講座補助	6,853,980	3,175,642	3,678,338	前年度繰越金含む
施設・設備補助	935,357	389,151	546,206	前年度繰越金含む
福祉事業補助	567,600	6,915	560,685	福祉基金会計からの 資金移動
教員・役員研修費補助	800,000	712,584	87,416	研修費補助金
(事業関係合計)	26,715,152	21,782,722	4,932,430	
広 報 活 動	1,500,000	1,181,670	318,330	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	424,802	75,198	
広報誌手数料	60,000	25,800	34,200	アルバイト代
(広報関係合計)	2,060,000	1,632,272	427,728	
予 備 費	1,063,916	0	1,063,916	
次年度繰越	0	7,849,821	-7,849,821	
総 合 計	33,109,068	33,688,194	-579,126	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
1	前年度繰越金	4,011,866	4,011,866	0	
2	雑収入	1,000	11,250	-10,250	
3	合計	4,012,866	4,023,116	-10,250	

支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,012,866	4,023,116	-10,250	
6	合計	4,012,866	4,023,116	-10,250	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
7	前年度繰越金	10,275,052	10,275,052	0	
8	一般会計より資金繰入	0	0	0	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	3,099,840	400,160	
10	雑収入	10,000	13,906	-3,906	
11	合計	13,785,052	13,388,798	396,254	

支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
12	学生貸付金	6,000,000	3,600,000	2,400,000	
13	予備費	7,785,052	0	7,785,052	
14	次年度繰越金	0	9,788,798	-9,788,798	
15	合計	13,785,052	13,388,798	396,254	

(3) 福祉基金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
16	前年度繰越金	696,538	696,538	0	
17	雑収入	400	920	-520	
18	合計	696,938	697,458	-520	

支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
19	一般会計に組入	300,000	300,000	0	福祉事業補助へ組入
20	次年度繰越金	396,938	397,458	-520	
21	合計	696,938	697,458	-520	

(4) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
22	前年度繰越金	2,446,838	2,446,838	0	
23	雑収入	3,500	2,886	614	
24	合計	2,450,338	2,449,724	614	

支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
25	講演会、パンフレット作成	350,000	318,464	31,536	
26	次年度繰越金	2,100,338	2,131,260	-30,922	
27	合計	2,450,338	2,449,724	614	

■2009年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

1. 一般会計

2009. 4. 1～2010. 3. 31 単位：円

収入の部

	2009年度 予 算	2008年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	7,849,821	5,289,068	2,560,753	
会 費 収 入	2,900,000	27,300,000	1,700,000	
特別会計より組入	300,000	300,000	0	福祉基金会計からの 資金移動
受 取 利 息	25,000	20,000	5,000	
手数料他収入	200,000	200,000	0	任意保険手数料
合 計	37,374,821	33,109,068	4,265,753	

支出の部

	2009年度 予 算	2008年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	600,000	600,000	0	
旅 費・交 通 費	400,000	400,000	0	
会 議 費	550,000	550,000	0	
事務費・用品費	220,000	220,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	700,000	750,000	-50,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	650,000	100,000	
(総務関係合計)	3,320,000	3,270,000	50,000	
芸大祭補助	3,700,000	3,700,000	0	
クラブ補助	7,600,000	7,300,000	300,000	前年度繰越金含む
就職活動補助	5,000,550	4,009,058	991,492	前年度繰越金含む
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	500,000	100,000	
国際交流補助	1,059,235	1,049,157	10,078	前年度繰越金含む
公開講座補助	9,178,338	6,853,980	2,324,358	前年度繰越金含む
施設・設備補助	946,206	935,357	10,849	前年度繰越金含む
福祉事業補助	860,685	567,600	293,085	福祉基金会計からの 資金移動
学費貸付金資金振替	0	0	0	
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
(事業関係合計)	30,745,014	26,715,152	4,029,862	
広 報 活 動	1,500,000	1,500,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
広報誌手数料	60,000	60,000	0	アルバイト代
(広報関係合計)	2,060,000	2,060,000	0	
予 備 費	1,249,807	1,063,916	185,891	
総 合 計	37,374,821	33,109,068	4,265,753	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	4,023,116	4,011,866	11,250	
2	雑 収 入	1,000	1,000	0	
3	合 計	4,024,116	4,012,866	11,250	

支出の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,024,116	4,012,866	11,250	
6	合 計	4,024,116	4,012,866	11,250	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
7	前年度繰越金	9,788,798	10,275,052	-486,254	
8	一般会計より資金繰入	0	0	0	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	3,500,000	0	
10	雑 収 入	10,000	10,000	0	
11	合 計	13,298,798	13,785,052	-486,254	

支出の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
12	学 生 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	
13	予 備 費	7,298,798	7,785,052	-486,254	
14	合 計	13,298,798	13,785,052	-486,254	

(3) 福祉基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
15	前年度繰越金	397,458	696,538	-299,080	
16	雑 収 入	400	400	0	
17	合 計	397,858	696,938	-299,080	

支出の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
18	一般会計に組入	300,000	300,000	0	福祉事業補助へ組入
19	次年度繰越金	97,858	396,938	-299,080	
20	合 計	397,858	696,938	-299,080	

(4) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
21	前年度繰越金	2,131,260	2,446,838	-315,578	
22	雑 収 入	2,000	3,500	-1,500	
23	合 計	2,133,260	2,450,338	-317,078	

支出の部

単位：円

	科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	差 異	備 考
24	講演会、パンフレット作成	350,000	350,000	0	
25	次年度繰越金	1,783,260	2,100,338	-317,078	
26	合 計	2,133,260	2,450,338	-317,078	

■2009年度 名古屋芸術大学後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名	学部
1	会長	菅 沼 行 生	美術学部
2	副会長(総務委員長)	後 藤 優 子	デザイン学部
3	副会長(事業委員長)	澤 達 彦	美術学部
4	副会長(広報委員長)	磯 野 郷 子	デザイン学部
5	副会長(会計)	河 村 正 子	人間発達学部
6	会計監査	三 輪 裕 子	美術学部
7	会計監査	早 川 英 津 子	人間発達学部
8	書記	原 田 昌 央	美術学部
9	書記	大 竹 百 合 子	人間発達学部
10	会計	佐 藤 俊 明	デザイン学部
11	監事	馬 場 達 郎	美術学部
12	総務副委員長	石 坂 洋 一	音楽学部
13	総務副委員長	渡 邊 好 子	人間発達学部
14	総務委員	佐 藤 佳 子	音楽学部
15	総務委員	水 野 和 美	美術学部
16	総務委員	五 島 和 江	人間発達学部
17	総務委員	森 嶋 修	美術学部

通番	役職名	氏名	学部
18	事業副委員長	臼 井 貴 子	音楽学部
19	事業副委員長	山 田 里 美	美術学部
20	事業委員	加 古 富 雄	デザイン学部
21	事業委員	高 田 千 代 子	人間発達学部
22	事業委員	黒 柳 真 弓	音楽学部
23	事業委員	古 澤 悦 子	美術学部
24	事業委員	内 海 珠 美	人間発達学部
25	広報副委員長	山 下 智 春	人間発達学部
26	広報副委員長	松 林 さ と み	音楽学部
27	広報委員	鈴 木 政 司	デザイン学部
28	広報委員	長 尾 恵 利 世	人間発達学部
29	広報委員	安 藤 孝 子	美術学部
30	広報委員	片 山 み ゆ き	美術学部



全議題は、賛成多数で承認されました。また、最後に役員を退任された方に対して、大学より感謝状が贈呈されました。退任された方々は、高木早苗さん、破田野マリ子さん、大塚一夫さん、中嶋一司さん、足立葉子さんの5名の方々です。長年に渡って、本当にありがとうございました。



2009年度 教育懇談会および 学生部報告

学生部長 菅嶋康浩

5月17日に本学東キャンパスにて後援会定期総会後に多数の保護者の皆様ご参加の中教育懇談会が開催されました。そこで、本年度より組織改編されスタートした新生学生部のご紹介と学生部活動状況についてスライドを用いて学生部のご報告をさせていただきます。本稿では学生支援課についてご紹介させていただきます。

学生支援課の発足 ～教務学生課の組織改編～

情報化・グローバル化が急速に進むなか、現代社会では豊かな感性と創造力に富み、社会に適応して活躍できる人材が強く求められてきています。本学は芸術あるいは保育・初等教育活動などを通じて社会に貢献できる人材を育成するために教育を行っております。しかし変動する社会の中で、学生の興味や関心、目的意識や価値観などもまた大きく多様化してきています。本学の学生が充実した学生生活を送り、社会に対応できる能力を有して卒業できることは我々教職員の最優先されるべき課題であり、学生のニーズを把握して、学生の支援に当たることが学生部の基本的役割と考えています。そこで従来の教務学生課から学生支援を分け、本年度学生支援課がスタートしました。

学生支援課は、学生生活、就職、留学、保健、学生相談から相互に連携をとりながら多様なニーズに対応する組織体制を取っています。また当然、これまでのように学生部組織として教務課とも連携をとり合いながら業務を行っています。東キャンパスの学生支援課は1号館1階東に位置し、7名の職員が勤務しています。同館2階東に保健室と学生相談室があり、保健室は保健師1名が勤務、学生相談室は4名の相談員が交代制で勤務しております。また西キャンパスの学生支援課は事務棟1階西に位置し、6名の職員が勤務しています。事務棟の1階東に保健室があり、職員1名が勤務、A館2階に学生相談室があり、4名の相談員支援か交代制で勤務しています。

心身の健康支援 ～保健室と学生相談室から～

保健室の2008年度の年間総利用者数は、東キャンパス1553名、西キャンパス1593名であり、両キャンパスとも“健診結果の通知と返却および保健指導”が利用

者の多くを占めています。それ以外では美術・デザイン学部は“外科系の疾病異常”、また音楽学部・人間発達学部は“内科系の疾病異常”での利用者が多いという特徴が認められています。

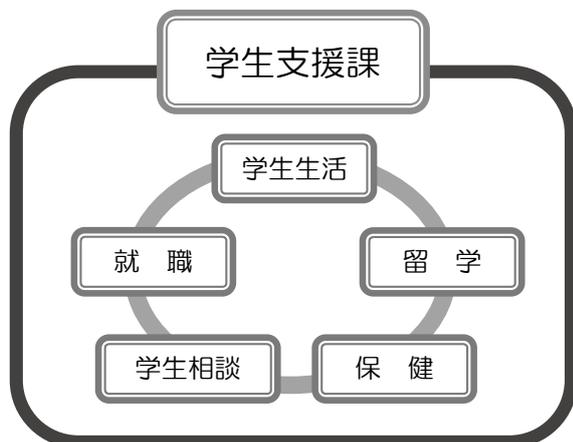
学生相談室の2008年度の利用者数は、延べ1218名（東キャンパス523名、西キャンパス695名）で2007年度の987名に比べ、大幅に増加しました。相談内容は精神衛生、修学上の問題、学生生活、対人・異性関係が上位を占めています。

精神的ストレスによる体調不良となり保健室を利用する学生、また相談室では対応できない重度の精神疾患の学生が増えており、保健室と学生相談室は相互に連携をとりながら対処しています。

就職支援

アメリカの金融危機に端を発したわが国の経済不況の影響を受け、2008年度卒業生の就職・進学希望者の就職・進学率は、音楽学部では91.0%と2007年度（90.6%）にほぼ同様の結果でしたが、美術学部およびデザイン学部では2007年度87.4%に対し、2008年度は74.8%と大きく下回りました。2009年度の就職状況は一層厳しい状況となることも予想されます。学生支援課では就職対策および資格取得の講座の実施、求人情報の提供に加え、就業体験や適正職業を見つけるのに有効なインターシップの提供をできる限り行っています。また、3年目となった人間発達学部では、教員採用試験および公務員試験対策講座の実施、小学校、保育所および幼稚園志望者に対する特別講座の提供など一層の就職支援を行っています。学生の皆さんには就職意識をしっかりと持ち、学生支援課にどんどん相談していただきたいと思います。

学生に充実した学生生活を送ることができるように学生支援課の職員一人ひとりが業務に当たりますのでご理解とご協力をお願いいたします。



名古屋芸術大学近況報告

音楽学部

《演奏学科》

声楽コース

声楽コースでは今年も新たに3名の特色ある新教員をお迎えすることができました。合唱授業担当の近藤恵子先生と学部と大学院で日本歌曲研究授業担当の関定子先生そしてアメリカ人でマルチェッラ・レアーレ先生です。

近藤恵子先生はNHK全国学校音楽コンクールで岡崎高校の合唱部を毎年金賞に導いているという全国でも大変知名度のある先生です。アグレッシブで活力の溢れた合唱指導で本学の学生たちに合唱の楽しさを教えて下さいます。また日本歌曲研究ではこれまた第1号の関定子先生にお願いしました。この方はオペラにおいても知られた方ですが、全国各地での日本歌曲リサイトを通して日本歌曲に造詣が深く、日本の歌を通して歌心の基本から授業をしていただけるものと楽しみにしています。3人目のマルチェッラ・レアーレ先生はアメリカ人ですが全世界でプリマドンナとして活躍されました。その後日本での後進の指導に当たられ、東京芸大、愛知県立芸大他、全国の音楽大学での指導をされてきました。この方も大変生徒思いでしかも厳しく指導されることで定評があります。日本に長く住んでいらっしゃるかなりの日本通ですのできっと本学の学生の心を感じ取って素晴らしいレッスンをして下さるものと楽しみにしています。

今年も声楽コースでは、2010年2月12日に電気文化会館で「歌曲のタベ」とオペラ「小さな魔笛」を2月27日津市の総合文化センター小ホール、3月9日岐阜市文化センター、3月13日名古屋市愛知県芸術劇場小ホールの3会場にて行います。今年のオペラは学生と担当教員4名による手作りオペラがコンセプトです。どうぞ学生たちの奮闘にご期待下さい。

声楽コース 教授 澤脇達晴

ピアノコース

今年度、ピアノコースでは、昨年に引き続き特別客員教授として、アレクサンダー・セメツキー先生をお招きしています。7月2日に「ピアノテクニク」について講義いただき、大変おもしろく、学生にとっても基本を考え直す良い機会となったことと思います。その他に前期では、6月4日にクシシュトフ・ヤボンスキー先生による、ショパン練習曲作品10の全曲の演奏を交えながら、重要なポイントや練習方法など細かく講義していただきました。

ピアノコースとしては、より多くの学生に舞台上での演奏を経験することによって、自らの演奏をより向上させるという目的があります。その為に多くの場を提供できるよう努力しております。「サマーコンサート」、「ピアノタベ」、「春のコンサート」などです。その上、7月8日には、しらかわホールにて「ピアノコンチェルト」、18日には北名古屋市主催の「七夕コンサート」と多くの学生がオーケストラとの共演という、素晴らしい経験をすることができました。また、後期にはセメツキー先生をはじめ、ケヴィン・ケナー先生、デニス・クズネツォフ先生などの公開講座を計画しております。

ピアノコース 教授 岡 由美子

電子楽器コース

専科の学生数、今年は4学年で36名。新1年生は7名入り、早くも校風に馴染んで明るく元気に学んでいます。大学院生も1人増え2名となりました。人前での演奏機会を通して多くを学んでもらう方向は健在。より多くのステージ・チャンスをいただいている今年の電子です。合宿形態の特別講座は今年で2回目。8月、豊橋シーパレスリゾートにて大人気パフォーマー・富岡ヤスヤ氏を講師に迎え、刺激の宝庫といった時間を作りました。ユニークな模擬グレードシステムも軌道に乗り、多くの学生が有効活用しています。電子は今年も元気です。

電子楽器コース 准教授 鷹野雅史

弦管打・バンドディレクターコース

今年4月から新しくヴィオラの林徹也先生が客員教授として加わりました。長年ドイツで室内オーケストラの首席奏者を務めてこられた方なので、今後の室内楽の授業が楽しみです。

8月には竹内先生率いるウィンドオーケストラがチェジュ国際ウィンド・アンサンブル・フェスティバルに出演し、好評を得たとの報告を受けました。ウィンドオーケストラは9月29日に、オーケストラは10月15日に定期演奏会がありますが、特にオーケストラは名古屋芸術大学初のプログラムとなるマーラーの「巨人」を演奏する予定で、今から胸がどきどきします。

アンサンブル研究所では今年も2つのアンサンブルの演奏会を開催します。1つは8月27日、指揮とヴィオラソロに林徹也先生を迎え、NUAストリングスの第2回演奏会をいたしました。本番だけでなく、練習でじっくり音に耳を傾けながら組み立てるといった神経を研ぎ澄ます時間を持た喜びを感じました。フルート・オーケストラも昨年同様にフルート担当教員全員、卒業生から

学部生も含めて、多彩なプログラムで開催できると期待しています。

また今年度特別客員教授として、ベンジオン・シャミール先生（元ロッテルダム・フィルハーモニー首席ヴァイオリン奏者）をお招きし、授業のみならず教員コンサートなども予定しています。

弦管打・バンドディレクターコース 教授 森 典子

《音楽文化創造学科》

音楽教育コース

音楽教育コースでは、創造的な音楽教育者を育成するために、実践面と理論面の両方のカリキュラムの充実をはかっております。

実践面では昨年と同様に、雅楽の楽器やハンドベル、大正琴などさまざまな楽器に触れることのできる場を設け、それらの練習成果を披露すべく8月末には兵庫県の小・中学校に演奏旅行に出かけます。さらに名古屋市文化振興事業団の要請により、9月6日に名古屋アートピアホールにおいて「音楽は友だちコンサート」を開催することになりました。

一方、理論面では「音楽教育Ⅲ(ゼミ)」や「音楽教育特論」の授業において、中学校の音楽教科書の内容について綿密に分析し、学校音楽教育とは何かについて深く学ぶ機会を設けています。

加えて、今年から世界的なソプラノ歌手である鮫島有美子先生を本コースに客員教授としてお招きすることになり、8月初めには、実践と理論の両側面から音楽の魅力に迫る、充実したエネルギーあふれる集中講義が実施されました。

音楽教育コース 教授 金子淳子

作曲・理論コース

作曲・理論コースでは、アカデミックな作曲理論の習熟と、それを基礎にした作品創作とを中心にカリキュラムが組まれています。特に作品創作については、1年次から4年次まで、学年ごとに指定された課題をこなすため、各学生は真剣に取り組んでいます。毎年1年生から4年生まで、全員の室内楽作品を対象に、演奏家をお願いして試演会を行います。2008年度も3月に実施しました。デュオ作品から、クインテットまで様々なスタイルの作品を演奏していただき、さらに全作品を録音しました。また、音楽文化創造学科のイベント「ルネッサンス21」に3、4年生が参加し、オーケストラ作品の新作を発表する機会に恵まれました。

作曲・理論コース 教授 田中範康

サウンド・メディアコース

サウンド・メディアコースでは、2009年7月19日(日)12:30-19:00 2号館スタジオにおいて、エンジニアプロデューサーである、赤川新一氏を特別講師として迎え、「スタジオ録音技法の研究」と題した特別講義を行いました。Gtr、Pf、Bass、Drum、の演奏者を招き、アンサ

ンプルを収録し、スタジオワークにおける基本的な心得やマイキングの手法、ミキシングの際の注意点などを中心に、講義いただきました。実践に則した内容で、エンジニアリングを目指す学生にとって、とても有意義な講義となりました。

2009年8月27日(木)16:00-18:00 2号館中アンサンプル室において、アーティスト青木孝允氏を招き、「西洋人と東洋人、両方の視点で見た日本と世界とアート」と題した特別講義を行いました。大阪出身で、現在は、ドイツ・ベルリン在住であるの青木孝允氏は、コンピューター/ソフトウェア・ベースでの創作活動を中心としながら、独自の音楽表現を力強く押し上げる気鋭のアーティスト。

30分間のライブパフォーマンスの後、「海外と日本におけるアートの違いや表現について」、「何故コンピューターを用いてパフォーマンスを行なうのか」、「コンピューターだからこそ表現し得ることは何か」について、講義頂きました。

クリエイターを目指す学生にとって、とても有意義な講義となりました。

サウンド・メディアコース 講師 長江和哉



赤川氏 特別講義

音楽療法コース

音楽療法コースでは、これまでに引き続き地域の子ども・成人・高齢者施設での音楽療法実践活動を続けています。学生たちが主体的に活動内容を創造する姿は大変なものでもあります。

また、新たな就職先の開拓に向けて、コース卒業生の協力者を得て、音楽療法の職業としての理解を目標に、各関連施設の訪問を続けています。少しずつではありますが、新たな就職現場が増えてきつつあります。7月には訪問結果を取りまとめた学生に対する説明会を開催しました。

今年度は、10月に卒業生と在校生を対象とした研究会、年度末に音楽療法発表会を開催することを予定しております。

音楽療法コース 講師 伊藤孝子

ミュージカルコース

ミュージカルコースは、この2月、頂きました後援会予算で、「飛騨・童話会議2009」という大イベントに参加させて頂き、「眠りから覚めた眠りの森の美女」というミュージカルを上演させて頂きました。

このミュージカルには、吹奏楽、コーラス隊、ダンス隊、童話の森の製作隊として200名を超える飛騨の皆さんが参加し、ミュージカルコースの学生・研究員・教員たちと共に約2時間のミュージカルを演じて下さいました。参加して頂いた飛騨の皆さんの中には、高山在住の本学卒業生も数多くいて、学生たちは先輩たちとの意外な出会いも楽しむことが出来ました。後援会予算を提供して下さいました名古屋芸術大学後援会の皆様には心より感謝しております。

幸いにして、このイベントは各方面からご好評を頂き、来年の2月にも「飛騨・童話会議2010」が開催されることとなりました。主催者の方たちによりますと、今年を遙かに超える参加者申し込みがあるそうで、学生たちは今から楽しみにしております。

「飛騨・童話会議2010」では、童話の主人公たちの婚活をテーマにした「シンデレラ・ワンダーランド」というミュージカルを上演させて頂く予定で、既にその準備が始まっています。

また、7月には韓国・開催されました「第3回大邱国際ミュージカル・フェスティバル」に参加させて頂き、救国の少女ジャンヌ・ダルクをテーマにした「Pritty,Mighty,Jeanne」を上演して参りました。

日本・韓国・中国の大学が参加したこのフェスティバルは大変な盛況で、学生たちは韓国のミュージカル熱の高さに圧倒され続けていました。

最終日に行われた授賞式では、運良く、「第3回大邱ミュージカル賞特別賞」を頂くことが出来、学生たちにとっては大きな励みとなりました。

これからも、オープンキャンパス、修了試演会、飛騨公演、3月公演と公演予定が続きます。学生たちの懸命なパフォーマンス、お時間がありましたら是非、足をお運び頂きたいと思っております。

ミュージカルコース 教授 森泉博行

音楽ビジネス・ステージマネジメントコース

音楽ビジネス・ステージマネジメントコースの学生達は、表でなく裏の主役を演じる事に徹しています。今年度も、昨年度の企画を継続実施して参ります。

今地元で最も活躍中の音楽家を紹介していく「小牧市音楽鑑賞講座“音のときめき” 6/27、8/8、9/12、10/24、12/12、2/21」(官学協同企画)。新人発掘「CD制作“manifold”」(自主企画)。鋭い洞察力で定評の「音楽情報誌“Oto-ari”」11月発行(自主企画)。そして、ビジネス本来の利益に繋がる運営法、則ちチケット販売口コミ作戦やネット活用でのスポンサー獲得戦略等、コンテンツビジネスの徹底した実践体験を狙った「港コンサート“芸術が薫る・港100” 港103・シリーズ(1、11、3月)」(地域密着型企画)の実施。

更に、就職に直結する「インターンシップ」を夏期、

冬期休暇に予定しております。

音楽ビジネス・ステージマネジメントコース
教授 小松孝文

ジャズ&ポップスコース

ジャズ&ポップスコースでは、3月31日に3号館で卒業演奏会を開催しました。内容は、卒業生の要望もあり、ゲストにカルロス菅野(Per)熱帯ジャズ楽団バンドマスター、平川象二(Ds)本学卒業生、ダニー・シュワツケンディック(Piano)本学教員、渡辺規夫(Gt)本学教員、そして野々田万照(Sax)本学教員など豪華なメンバーの参加で、卒業演奏会が一層華やかなものとなりました。

今年度に入ってから、特別客員教授の山下洋輔氏、森山威男氏による公開講座が開かれ、学生の実技レベルの向上に大きな効果がありました。

学内では、定期的な発表の場としてロビーコンサートが行われ、学外からの依頼演奏が増える後期には、メンバーを選抜して期待に応える演奏活動を実現します。

ジャズ・ポップスコース 教授 竹本義明

《演奏学科・音楽文化創造学科》

音楽総合コース

音楽総合コースでは、4月に八ヶ岳にてオリエンテーション合宿を行いました。

合宿では、個別面談を行いながら、各コース担当教員が、それぞれの学生の関心に基づいたカリキュラム作成の説明会、個別的助言を行いました。その成果もあり、かなり複雑なカリキュラム作成作業ではありますが、比較的スムーズに履修が終了しました。現在はそれぞれの学生が自分のたてたカリキュラムに沿って、勉学をすすめています。

また、合宿が元となり、コース・学科を超えた学生同士の交流が広がっていることも喜ばしいことであります。

音楽療法コース(音楽総合コース担当)
講師 伊藤孝子



美術学部

名古屋芸術大学美術学部では本年、平成21年4月に学部長の交替があり、神戸峰男（彫刻）、荒木弘訓（日本画）の元・前学部長を継いで、山田耕二（美術文化）が新学部長に就任いたしました。

ところで、既にご存知の方も多いことと思いますが、美術学部では芸術大学、特に美術学部を取り巻く近年の急速な社会環境の変化に対応するために、平成20年度に学部の抜本的な大改編を断行し、本年度はその第2年目の実施に入っているところです。従来の美術学部は絵画科、彫刻科、美術文化学科を有する一学部三学科の構成で運営されてきました。平成20年度の改編ではその三学科を統合し、美術学部美術学科という一学部一学科の構成に編成し直し、その中に従来の学科に代って、日本画、洋画1、洋画2、彫刻、立体造形、陶芸、ガラス、版画、美術文化というより細分化した専門コースを設置し、更に新たにアートクリエイターコースを新設し、一学部一学科＋専門コースの編成にしました。この大改編を断行した背景としては、積極的、消極的ないくつかの要因を挙げることができます。

まず積極的な要因としては、現今の厳しい美術学部経営にあって、教員の力が三学科に分散される従来の学部構造を改め、全教員の力をひとつに集中できる構造とすることによって、教育や学生募集をより強力に推進する体制の構築を目指す点があげられます。また、各美術ジャンル間のクロスオーバーやフュージョンを超えて拡大する美術ジャンルの多様化と、それに伴って益々多様化の傾向を見せる学生の美術志向に適確に対応できる体制を組む目的があります。更に近年、質量共に弱体化の一途を辿っている中学校や高等学校における美術教育の現状に鑑み、中等教育において十分な美術教育を受けられなかった生徒達が、さまざまな美術ジャンルの教育を体験したうえで、適切な専攻ジャンルを選択することのできる機会を体制的に設ける点もあげられます。

一方消極的な要因としては、受験生の減少傾向が進む状況にあって、文部科学省の方針に対する対策として、間口を拡大することで収容定員数の確実な確保を計る必要に迫られている点があります。また経営上の観点からは、過剰に拡大した教員数を将来的に適切な数に削減可能な構造に編成し直すことも必要です。

改編2年目に入って改めて改編の状況を見ますと、その成果が明らかに現われ始めている点もありますが、一方、未だ必ずしも改編の成果が出るに到っていない点、あるいは、改編が抜本的であったが故に、改編に伴う想定外の問題点なども少しずつ明らかになってきています。

改編の成果が現われ始めている例として、ひとつにアートクリエイターコースの新設があります。美術環境、美術教育の現状分析に基づいて新設したコースではありませんが、いざ蓋を開けてみますと、このコースに当初の予測をはるかに超えた志望者がいることが明らかになり、アートクリエイターコースの新設は、改編の成果をあげつつある一例とすることができます。しかし一方では、美術学部にとっては正に嬉しい悲鳴と言わなければならない、この想定外の志望者数は、改編の不備を露呈する結果にもなりました。つまりアートクリエイターコースの教育組織と教育施設の整備が、この想定外の志望者数に必ずしも追いついていないのです。早急にその状況を改善すべく、今全学部を挙げて取り組んでいます。

このように改編の進行に伴って良い点、悪い点、大小さまざまな問題点が浮き上がってきています。この改編を成功に導くためにはこれからもいくつもの軌道修正や問題点の除去を繰り返してゆくことは不可欠と思われます。今回の改編の完成年度の2011年度に向けて、今年から可能な範囲でひとつひとつの問題点の確実な処理を続け、翌2012年度には大改編の実効性が十分に挙げられる体制で再スタートしたいと願っています。そのため美術学部が一丸となって全力を尽くすことは言うまでもありませんが、関係の皆さまにも改編の進行をお見守りいただきます共に、ご支援を心よりお願い申し上げます。次第です。

美術学部長 山田耕二



デザイン学部

4月4日の入学式で新生を迎え、新しい年度が始まりました。

今年度は、入学式を前に竣工した懸案のデザイン学部U棟実技室の増築が、ヴィジュアル・デザイン、イラストレーション、メディア・コミュニケーション、インダストリアル・デザイン、スペース・デザイン・コースの実技室を中心に改善され、より快適な教育環境が実現する中でスタートすることができました。

入学式の当日には学部の専任教員と非常勤の教員そしてすべての事務職員が今年度の教育の方針を確認し豊富を語り合うスタッフミーティングが行われ翌週からのオリエンテーションに続き4月9日から前期授業が始まりました。

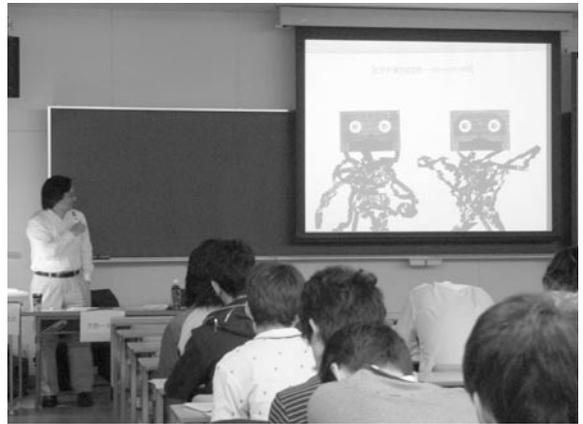
新生を迎え、デザイン学部を知っていただくため今年もオープンした恒例のレヴュー選抜展（1年生から3年生までの学生が、毎年度末に行う年間のすべての作品を展示する総合作品展）が15日まで開かれ、多くの新生・ご父兄に見てもらうことができました。9日には、優秀な成績を収めた学生が表彰されました。

授業は、今年度も1年生から4年生までの、そして大学院生の講義と実技の滞りない通常授業の進行に加え、様々な特別講義、公開講座、展覧会が行われました。

特別講義・公開講座・展覧会など、そのいくつかを紹介すると、5月23日から6月2日まで行われた「映像メディアのコンテキスト」と題する展覧会が開かれ、公開講座として行われた同シンポジウムがパネラーとして、天野一夫氏（豊田市美術館チーフキュレーター）、茂登山清文（名古屋大学情報科学研究科准教授）、後々田寿徳氏（オルタナティブ・スペース梅香堂主）、吉岡洋氏（京都大学大学院文学研究科教授／ビデオ出演）の出演で行われ約200名ほどの学内外の参加者の中、活発な映像メディアについての討論がなされました。



脇坂克二先生 講演会



「映像メディアのコンテキスト」シンポジウム

また、今年度の特別客員教授テキスタイルデザイナー脇坂克二先生を中心に「日本の伝統の軸線上にあるモダンデザイン」とのコンセプトのもとに立ち上げられたブランド「SOUSOU」について企画として、5月27日・6月1日に開かれた脇坂克二（SOUSOU）展が西キャンパスX棟1階和室で行われ、ユニークな地下足袋のデザインが斬新で印象的でした。

講義としては本学の授業科目のデザインと文化の講義として（5/29）講演され、同じくSOUSOUで活躍するアートディレクターの若林剛之氏（5/30）、建築家の辻村久信氏（6/6）の公開講座としての講演会が行われました。またテキスタイルコースの学生を中心に他の多くのコースの学生も参加した地元の有松絞りの工房見学とそこでの制作、SOUSOUの京都ショップの見学、さらに脇坂先生によるワークショップなどが実施され、地元の伝統文化と斬新な現代的感觉の統合による創出という色濃い授業が展開されました。



脇坂克二（SOUSOU）展



奥山清行先生「デザインと文化」の講義

6月27日には、一昨年に続き今年度客員教授として、カーデザイナー・インダストリアルデザイナーの奥山清行氏が同じく「デザインと文化」の講師として講義を行いました。また午前中のインダストリアルデザインの専門科目の授業では秋につなげたさらに深い実技授業が行われました。

また、毎年行われている広告表現論の公開講座として、今年は映像作家のダイノ／サトー氏による「アニメーション表現」(6/3) シャープ「アクオス」・「太陽光発電」などの広告で著名なアートディレクターの副田高之氏によるアートディレクション術についての講義、グラフィックデザイナーの小川忠彦氏による「トリックアート入門」が氏の実作品をもとに話されました。

またインダストリアル・デザイン・コースでは毎年、企業の現場のデザイナーによる講義が学生の間で大きな刺激になっているが、今年はトーヨータイヤからの現場のデザイナーの講義なども行われました。

これら学外からの第一線で活躍する著名な方々の講演は学生たちに大きな実現可能な夢をもたらしたことでしよう。

また、大学院生を対象として、学外の専門家を招き、建築インテリアファッションについて講義とともに特別な研究課題に取り組んでいます。5月16日には岡崎市美術館の千葉真智子学芸員を招き「あら、先端的ね」展について語ってもらい、6月13日には、石崎亮京都服飾研究所学芸員1980年代以降の建築とファッションについて語ってもらい、7月11日には、建築家中山英之、ファッションデザイナー真田岳彦の講義がもたれ、院生による関連した研究がなされています。

大学院生は年間で取り組んでいる課題作品について7月24日と8月4日大学院担当教員全員による中間講評会が行われました。講評会は発表する院生の研究領域の教員はもちろん他領域の教員からも講評が寄せられるなど両者の熱心な一コマが見られました。

デザイン学部は、また学外の企業との産学協同の取り組みを重視してきましたが、昨年までに一段落した天童木工や地元の八幡ネジとの提携事業に続き、今年度から、静岡の成形合板のメーカーとして知られるサイトウ・ウッドとの提携が進み学生のアイデアが生かされた商品がヒットするなど具体的な進展が見られました。

デザイン学部では常滑に陶磁器の工房を運営している関係でこれまでも常滑の地域とは深い関係を築いてきましたが、5月には常滑商店会から寄付された不要な道具をスペースデザイン・コースが中心になって「リ・デザイン展」を行うなど今年も地域との交流も豊かに始まるうとしています。

修了生・卒業生の活躍という点では、2008年度のクラフトデザインの大学院修士課程を修了した土田泰子さんが社会人になるや、この分野の登竜門と言われる「朝日クラフト展2009」で準大賞を受賞したとの明るいニュースも入ってきました。

デザイン学部長 溝口和夫

人間発達学部

新1年生を迎え、2年生・3年生と併せて461名で2009年度を出発しました。完成年度を迎えるまで後一年余りになり、来年度は一期生の就職を控え学部教員の学生指導の正念場の年度を迎えています。

学生たちは7月末日までに、心配された新型インフルエンザ感染に伴う休講処置もなく無事前期試験を終え、やっと夏季休業を迎え、クラブの練習・合宿・保育所をはじめとしたボランティア活動、韓国慶南大学夏季講習、そして各種アルバイトに精を出しているようです。

夏休みも8月後半になると、1年生は「総合演習」の一環として、保育・教育の実践の場（保育所・子育て支援センター・児童館・障害者支援施設・フリースクール・複合型児童福祉施設）の見学が始まります。9月より、1・2年生は基礎学力養成講座Ⅰ、2年生は基礎学力養成講座Ⅱ、3年生はコース別に分かれて小学校採用試験対策講座と幼・保採用対策講座の続きが始まります。

本学は四年間を通じてゼミを開講しています。3年生からは専門ゼミがスタートし、自分の興味のある6つの分野「子ども音楽・表現ゼミ」「子ども福祉ゼミ」「子ども美術・造形ゼミ」「子どもの発達心理と教育相談ゼミ」「子ども教育ゼミ」「子ども体育ゼミ」の中から一つを選択し、4年次に完成させる卒業論文作成の準備に取りかかっています。

実習に関して、1年生は全員が附属クリエ幼稚園実習を1週間行い、2年生の保育士資格取得希望者は9月・2月に2週間ずつの「保育所実習」、さらに2月には1・2年の希望者には北名古屋市を中心とした小学校体験学習が実施されます。3年生の保育士資格希望者にはおおむね1週間の施設実習、小学校教諭免許状希望者には7日間の介護等体験実習、幼稚園教諭免許状希望者には9月に3週間の学外幼稚園実習が実施されます。様々な保育・教育現場に触れ、保育・教育者の奥深さを把握し、就職意欲をより確かなものにしてほしいものです。

学部としては、7月の4日間、愛知県現職保育士指導者養成研修・園長研修として16講座を開講し、県下より62名の園長先生の方々が参加されました。

8月には、学部の母体である短大部保育科卒業生を対象としたリフレッシュセミナーを開催し、名古屋市第一幼稚園園長鈴木照美先生に「私の失敗談」をテーマとし講演をいただきました。9日(土)には、民秋言氏「保

育指針・幼稚園教育要領から学び 小学校との連携について考える」の特別記念講座を行い、会場のウエル愛知は幼稚園や保育所の現役の先生方の参加も多く盛況でした。

9月から11月の毎週水・木曜日には人間発達研究所主催の「親子講座」を大学内で開催します。12月には文化創造セミナーを実施し、内外に保育者・教育者養成校としての使命を昨年度に引き続き果たしていく所存です。さらに、来年3月には、学生から要望の高い11日間のヨーロッパ教育セミナーを実施し、ヨーロッパ諸国の幼児教育の歴史と現状を視察し学習します。

本学部はクラス制を取っているため学生同士の仲が大変よいのが特徴でもあります。このことが他学部より保健室利用状況や相談室相談件数が少ないことにもつながっていると考えられます。

学部の枠を超えて仲間ができるのが、クラブ&サークルの良いところですが、今年度も新たにいろいろなサークルを立ち上げてきています。学生たち待望の吹奏楽サークルも発足し、7月25日(土)のオープンキャンパスで「On Stage」と「サタデー・ナイト」の2曲を演奏しました。結成3か月とは思えない名演奏を繰り広げ、参加した高校生から大きな拍手をいただきました。フットサル部やバスケットボール部は、本学部学生が中心となり積極的に他学部の学生と交流しているようです。



吹奏楽サークル

学部長の入試要覧の言葉に「あなたの中の子どもの心は今も元気ですか?」があります。いつまでも子どもと一緒に遊べる保育・教育者を目指し、「オンリーワンスキル」を磨いてほしいと願っています。

人間発達学部学生部主任 星野英五



リフレッシュセミナー懇親会

2008年度 卒業式

2009年3月24日(火)、名古屋市中区の中京大学文化市民会館ブルニエホールにおいて、2008年度の名古屋芸術大学大学院学位記授与式ならびに名古屋芸術大学卒業式が行われました。



式典は開式の言葉で始まり、まず、大学院音楽研究科・美術研究科・デザイン研究科それぞれの研究科長より、修士課程修了生の代表に修士の学位記が授与されました。続いて、音楽学部・美術学部・デザイン学部の学部長より、卒業生の代表に学士の学位記が授与され、拍手と感動の中で学位記の授与が行われました。続いて、榊



達雄学長が式辞を述べられ、学長は、「皆さんは、人生の貴重な時期に名古屋芸術大学において、多くのことを学んだこととします。在学中に

学んだ学問・芸術、喜びや悲しみを共にした友人は、皆さんの財産です。今後も大切にしてください。また、人格の完成は、生涯を通じて追及すべきものです。皆さんはどのような道に進もうとも、理性と高い志を持って自らの専門を磨くと共に、より深い教養を身に付けるべく生涯学び続けることが大切です。平和な社会の創造を目指して行動できる高い知性と力強い勇気・気力を身につけてください。」と激励のメッセージを送られました。



続いて、来賓を代表して、学校法人名古屋自由学院理事長から卒業生に向けたお祝いと、父母を始め関係者に対するお礼の挨拶が行われました。

この後、各学部の卒業生から卒業記念品の贈呈がおこなわれ、閉式の辞で式典は滞りなく終了しました。式典終了後は、2008年度の成績優秀者が学部ごとに発表されました。

なお、式典当日の3月24日は本学のみならず、WBC 2連覇を達成した日本にとって記念すべき日となりました。



大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)
成績について 証明書発行について 教員免許・学芸員資格について	教務課	
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課	
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)	
生涯学習講座について	生涯学習センター(芸術文化交流室)	
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課	
アート&デザインセンターで開催する 展覧会について	アート&デザインセンター(芸術文化交流室)	西キャンパス 0568-24-0325 (代)
後援会について	芸術文化交流室	

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、以上の理由から、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の処理が行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

■2009年度 学生数

<学 部>

2009年5月1日現在

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	12	74	86	7	62	69	8	68	76	16	98	114	345
	音楽文化創造学科	36	61	97	42	62	104	34	70	104	29	71	100	405
	音楽学部小合計	48	135	183	49	124	173	42	138	180	45	169	214	750
美 術 学 部	美 術 学 科	28	113	141	18	94	112	/	/	0	/	/	0	253
	絵画科 日本画	0	1	1	0	2	2	2	23	25	4	27	31	59
	絵画科 洋画	0	0	0	2	1	3	17	40	57	16	40	56	116
	造 形 科	0	0	0	1	0	1	11	17	28	11	18	29	58
	美術文化学科	0	0	0	0	0	0	4	7	11	1	10	11	22
	美術学部小合計	28	114	142	21	97	118	34	87	121	32	95	127	508
デザイン学部	デザイン学科	46	146	192	53	127	180	50	146	196	46	140	186	754
	デザイン学部小合計	46	146	192	53	127	180	50	146	196	46	140	186	754
人間発達学部	子ども発達学科	40	95	135	33	127	160	51	114	165	/	/	0	460
	子ども発達学科小合計	40	95	135	33	127	160	51	114	165	/	/	0	460
学 部 生 合 計		162	490	652	156	475	631	177	485	662	123	404	527	2472

<大学院>

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
美 術 研 究 科	4	8	12	3	11	14	26
デザイン研究科	5	17	22	4	8	12	34
音楽研究科	2	1	3	0	6	6	9
大学院生合計	11	26	37	7	25	32	69

総学生数 2,541人

2008年度授業評価アンケート報告

今回で第5回目となる授業評価アンケートもその実施意義については学生諸君に概ね理解され、その回収率も比較的高くスムーズに実施されています。その全体的な授業評価平均値は例年5段階評価（最高5）の3から4で、今回も同程度でありました。

本学の特徴として講義より演習・実習・実技系の方が、また多人数授業より少人数授業の方が評価平均値が高いことが分かります。これらのことから専門教育に対する期待度が高いことが伺えます。ただし少人数授業の方が評価が高くなることはアンケートの取り方にも問題点があるため今後の検討課題となっています。なお今回は始めて授業評価アンケートに対する教員側の思いの一端をご披露申し上げます。

- 指導成果の達成感ややりがいを感じた。
- もっと分かりやすく説明することに心がけようと感じた。
- 理解度が上がっている事の満足感。
- 学生側の人の話を聞く感覚の問題点を感じる。
- 教える事の難しさを実感した。
- 今後とも努力をしていきたい、シラバス通りにはおおむね進めている。
- シラバス通りに授業していることが理解されていないのではと思う。
- 熱意を持って指導に当たっているがその熱意が伝わってなくて大変残念である。

このように本学教員もこのアンケートを学生からの貴重な熱いメッセージとして受け止めています。教員の回答から、指導の喜びや苦悩を感じていることや、本来の趣旨であります授業改善に向けてそれぞれ工夫と努力をしているということもわかりました。

5年を経過した今、自己点検評価委員会では今後に向けて一層のより良い内容での実施とその活用の在り方について討議していきます。またこの5年間の調査結果につきましては推移を調べどのように意識の変化があるのかを総括する予定です。いずれその結果につきましてはご報告することと致します。今回の授業評価アンケート結果を踏まえまして今後におきましても一層の授業改善に向けて努力していきますので、皆様におかれましてもご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

2008年度実施方法と期間

調査項目は9項目あり以下のような設問で、5段階評価（最高5）としています。

- 設問1 既学習感・達成度（学び感）
- 設問2 授業構造（授業の組み立て）
- 設問3 授業内容（授業の分かりやすさ）
- 設問4 授業内容（授業の中身とシラバスの一致）
- 設問5 授業運営・教員（担当教員の熱意）
- 設問6 総合評価（他の学生に推薦できる授業か）
- 設問7 授業内容（授業の意味、重要性）
- 設問8 授業への取り組み（学生自身の取り組み度合い）
- 設問9 総合評価

実施期間は次のように行いました。

【前期】

前期開講の全科目。ただし通年科目は含まない。
2008年7月7日(月)～7月19日(土)

【後期】

全通年科目と後期開講科目
2008年12月1日(月)～12月13日(土)

	学 部	配布総数(枚)	回収総数(枚)	回収率
前 期	音楽学部	5,925	3,493	59.0%
	人間発達学部	2,334	1,544	66.2%
	美術学部・デザイン学部	10,215	5,428	53.1%
後 期	音楽学部	9,245	3,521	38.1%
	人間発達学部	1,983	1,641	82.8%
	美術学部・デザイン学部	11,131	4,638	41.7%

副学長 澤脇達晴

本調査結果は、本学ホームページ「ニュース・トピックスキャンパス情報」に掲載中です。
<http://www.nua.ac.jp/itdir/j-hyouka/>

2009年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	1	水	音楽総合コース1年セミナー(4/1~4/2)	
	2	木	▼	
	3	金	オリエンテーション	
	4	土	入学式	
	6	月	オリエンテーション/健康診断	
	7	火		
	8	水	▼ 健康診断	
	9	木	授業開始	
	11	土	新入生歓迎会	
	13	月	履修登録訂正期間	
16	木	▼		
17	金	履修登録訂正締切 16時迄		
29	水	昭和の日(休日)		
30	木	臨時休業(休日)		
5月	1	金	開学記念日(休日)	
	2	土	臨時休業(休日)	
	3	日	憲法記念日(休日)	
	4	月	みどりの日(休日)	
	5	火	こどもの日(休日)	
	6	水	振替休日 授業実施日	
	17	日	後援会総会・懇談会(東キャンパス)	
	27	水	私塾教育懇談会 11:00~	
6月	9	火	指定校教育懇談会 16:00~	
	20	土	オープンキャンパス 10:00~16:00	
	29	月	前期実技試験曲目提出期間(6/29~7/7)	
7月	6	月	▼	
	7	火	▼ 前期実技試験曲目提出締切 16時迄	
	20	月	海の日 授業実施日	
	23	木	実技試験(7/23~7/25)	
	25	土	▼	
	27	月	前期試験期間(7/27~7/31) ※授業または試験期間	
	28	火	夏期音楽講習会(7/28~7/31)	
	31	金	▼ 前期授業終了	
	8月	1	土	夏季休業期間開始
		3	月	試験予備日
4		火	集中補講期間(8/4~8/7)	
7		金	▼	
10		月	一斉休業(8/10~8/14)	
14		金	▼	
17		月	AO入試受験診断A(8/17~9/13)	
19	水	成績伝票提出締切(教員)		
26	水	前期成績発表 13時~		
9月	1	火	前期追再試期間	
	4	金	▼	
	8	火	追再試成績伝票提出締切(教員)	
	10	木	追再試成績配布 13時~	
	13	日	AO入試受験診断A・B ▼	
	17	木	後期オリエンテーション(9/17~9/18)	
	18	金	▼	
	20	日	夏期休業期間終了	
	21	月	敬老の日(休日)	
	22	火	国民の休日(休日)	
	23	水	秋分の日(休日)	
	24	木	後期授業開始 後期履修登録訂正期間(9/24~9/29)	
	26	土	オープンキャンパス 10:00~16:00	
29	火	後期履修登録訂正提出期間締切 16時迄 ▼		

月	日	曜日	後期行事予定
10月	4	日	AO入試A・B
	12	月	体育の日(休日)
	29	木	芸大祭 準備日
	30	金	芸大祭(10/30~10/31)
31	土	▼	
11月	1	日	芸大祭後片づけ
	3	火	文化の日(休日)
	7	土	推薦入試・3年編入入試
	8	日	指定校推薦入試
	22	日	学院創立記念日
	23	月	勤労感謝の日 授業実施日
12月	5	土	大学院A日程入試
	7	月	後期実技試験曲目提出期間(12/7~12/16)
	15	火	▼
	16	水	後期実技試験曲目提出締切 16時迄
	21	月	授業実施日
	22	火	授業実施日
	23	水	天皇誕生日(休日)
24	木	後期集中補講期間 冬期音楽講習会 冬季休業開始 (12/24~12/25) (12/24~12/27) (12/24~1/6)	
25	金	▼	
27	日	▼	
28	月	集中補講期間 冬季一斉休業期間(12/28~1/2)	
1月	1	金	元旦
	2	土	▼
	4	月	集中補講期間
	6	水	▼ 冬季休業終了
	7	木	授業再開
	11	月	成人の日(休日)
	21	木	実技試験(1/21~1/23)
	23	土	▼
	24	日	実技試験(予備日)
	26	月	後期試験期間(1/26~2/1) ※授業または試験
2月	1	月	▼
	2	火	試験予備日
	5	金	A日程入試
	6	土	A日程・3年編入・特待生入試
	9	火	成績伝票提出締切(教員)
	11	木	建国記念日(休日)
	12	金	後期成績発表 13時~
	15	月	研究生入試
	16	火	後期追再試期間(2/16~2/19)
	19	金	▼
23	火	追再試成績伝票提出締切(教員)	
24	水	追再試成績発表 13時	
3月	3	水	卒業判定会議
	4	木	卒業演奏会(3/4~3/5)
	5	金	▼
	10	水	進級判定会議
	20	土	卒業式
	21	日	春分の日(休日)
	22	月	振替休日(休日)
	25	木	B日程入試 大学院B日程入試
	29	月	前期オリエンテーション/在学生(3/29~3/31)
	30	火	▼
31	水	▼	

月	日	曜日	申請および届出	提出先
4月	24	金	非常勤講師届出(他大学で非常勤講師をしている先生のみ)	庶務課
	19	火	研究助成交付の申請	事務長
5月	29	金	短期海外出張助成交付の申請	事務長
	30	土	選択定年制適用の申し出	庶務課
7月			平成20年度 私立大学等経常費補助金(特別補助)に係る実施見直し	庶務会計課

2009年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	3	金	新入生オリエンテーション	
	4	土	入学式	
	6	月	オリエンテーション 履修登録提出締切(3・4年生) 16:30迄	
	7	火	健康診断(1・2年生) Web履修登録(1・2年生)	
	8	水	↓	
	9	木	授業開始 履修登録確認票配布 12:10~	
	11	土	新入生歓迎会	
	16	木	履修登録訂正締切 16:30迄	
	29	水	休日 昭和の日	
	30	木	休日 臨時休業	
5月	1	金	休日 開学記念日	
	2	土	休日 臨時休業	
	3	日	休日 憲法記念日	
	4	月	休日 みどりの日	
	5	火	休日 こどもの日	
	6	水	授業実施日 振替休日	
6月	14	日	オープンキャンパス 入門編	
	19	日	オープンキャンパス 体験編	
7月	20	月	授業実施日 海の日 ↓	
	27	月	} 前期試験期間	
	31	金		前期授業終了
	31	金		
8月	1	土	夏季休業期間開始	
	2	日	一日芸大生 あいち子ども芸大	
	3	月	前期試験予備日	
	4	火	} 前期集中講義期間	
	5	水		
	7	金		
	19	水	成績伝票提出締切(教員)	
	26	水	13時より前期試験成績発表	
9月	1	火	} 前期追再試験期間	
	2	水		
	4	金		
	5	土	AO入試	
	8	火	追再試成績伝票提出締切(教員)	
	10	木	13時より前期追再試験成績発表	
	18	金	後期オリエンテーション	
	20	日	夏季休業期間終了	
	21	月	休日 敬老の日	
	22	火	休日 国民の休日	
	23	水	休日 秋分の日	
	24	木	後期授業開始 Web履修登録(1・2年生)	
	25	金	履修登録提出締切(3・4年生) 13:10迄	
	27	日	オープンキャンパス 進学編	
30	水	履修登録確認票配布 12:10~		

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	2	金	履修登録訂正締切 13:10迄	
	12	月	休日 体育の日	
	29	木	芸大祭準備日(全日休講)	
	30	金	芸大祭	
31	土	↓		
11月	1	日	芸大祭後片付け	
	3	火	休日 文化の日	
	8	日	推薦・指定校・社会人入試	
	15	日	大学院Ⅰ期・3年編入入試及び転科転コース(3年)試験	
	22	日	休日 学院創立記念日	
	23	月	授業実施日 勤労感謝の日	
12月	12	土	地域入試(浜松)	
	21	月	授業実施日 冬季休業期間開始	
	22	火	授業実施日	
	23	水	休日 天皇誕生日	
	24	木	集中補講期間	
	25	金	} 集中補講期間	
	28	月		
	31	水		
	1月	1	木	} 元旦 冬季一斉休業期間
		3	日	
4		月	集中補講期間	
6		水	↓	
7		木	後期授業再開 冬季休業期間終了	
11		月	休日 成人の日	
26		火	} 後期試験期間	
29		金		
29	金			
2月	1	月	後期授業終了	
	2	火	試験予備日	
	4	木	A日程入試・転コース選考(美術2年)	
	5	金	↓	
	9	火	成績伝票提出締切(教員)	
	11	木	休日 建国記念日	
	12	金	13時より後期学科試験成績発表	
	16	火	} 後期追再試験期間	
	19	金		
	19	金		
	20	土	大学院Ⅱ期・研修生入試	
	23	火	追再試成績伝票提出締切(教員)	
	24	水	13時より後期追再試験成績発表	
	3月	3	水	卒業判定会議
10		水	進級判定会議	
19		金	B日程・研究生入試	
20		土	卒業式	
21		日	休日 春分の日	
22		月	休日 振替休日	
23		火	春季休業期間開始	
28		日	オープンキャンパス スプリング編	
30		火	2~4年生オリエンテーション実施予定	

2009年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	2	木	2・3年オリエンテーション
	3	金	1年生オリエンテーション
	4	土	入学式
	6	月	1年生オリエンテーション合宿 健康診断(2・3年)
	7	火	↓
	8	水	健康診断(1年生)
	9	木	授業開始
	11	土	新入生歓迎祭 1年生オリエンテーション
	13	月	履修登録訂正期間
	16	木	↓
17	金	履修登録訂正締切 16時迄	
29	水	昭和の日	
30	木	臨時休業	
5月	1	金	開学記念日
	2	土	臨時休業
	3	日	憲法記念日
	4	月	みどりの日
	5	火	こどもの日
	6	水	振替休日 授業実施日
	9	土	文化創造セミナー(午後1時～) 3号館ホール
7月	20	月	海の日 授業実施日
	23	木	補講日 (音楽学部実技試験期間)
	24	金	↓
	25	土	人間発達学部オープンキャンパス
	27	月	前期試験期間または前期授業最終週
	28	火	↓
	29	水	↓
	30	木	↓
	31	金	↓ 前期授業終了
	8月	1	土
2		日	卒業生リフレッシュセミナー
3		月	試験予備日
4		火	補講期間・集中講義期間
7		金	↓
8		土	公開講座(午後1時～)ウィルあいち
10		月	夏季一斉休業期間
14		金	↓
19		水	成績評価表提出締切(教員)
26		水	前期合否発表 13時～
29	土	人間発達学部オープンキャンパス	
31	月	後期オリエンテーション 1・2・3年	
9月	1	火	前期追再試験期間
	4	金	↓
	7	月	保育実習Ⅰ(2年生)(9/7～9/19)
	8	火	追再試成績評価表提出締切(教員)
	10	木	幼稚園実習(3年生)(9/10～10/3)
	11	金	追再試合否発表 13時～
	21	月	敬老の日
	22	火	国民の休日
	23	水	秋分の日
	24	木	後期授業開始 履修登録訂正期間
	27	日	人間発達学部オープンキャンパス
	28	月	↓
29	火	履修登録訂正期間締切 16時迄	

月	日	曜日	後期行事予定
10月	4	日	AO入試
	12	月	体育の日
	29	木	芸大祭(準備を含む)
	30	金	↓
31	土	↓	
11月	1	日	芸大祭後片付け
	3	火	文化の日
	7	土	推薦A入試 3年編入A入試
	8	日	推薦A入試
	22	日	学院創立記念日
	23	月	勤労感謝の日 授業実施日
	29	日	↓
12月	6	日	推薦B入試 社会人入試
	21	月	授業実施日
	22	火	↓
	23	水	天皇誕生日
	24	木	冬季休業開始 補講期間・集中講義期間
	25	金	↓
	28	月	集中補講期間
	29	火	冬季一斉休業期間
	1	金	↓ 元旦
	2	土	↓
4	月	補講期間・集中講義期間	
6	水	↓	
7	木	後期授業再開	
11	月	成人の日	
21	木	補講日 音楽学部実技試験期間	
22	金	↓	
26	火	後期試験期間または後期授業最終週 (2/1迄)	
29	金	↓	
30	土	↓ 一般A入試	
31	日	↓	
2月	1	月	↓
	2	火	試験予備日
	3	水	補講期間・集中講義期間
	5	金	↓
	9	火	成績評価表提出締切(教員)
	11	木	建国記念日
	12	金	後期合否発表 13時～
	15	月	保育実習Ⅱ(2年生)(2/15～2/27)
	16	火	後期追再試験期間(1・3年生)
	19	金	↓
23	火	追再試成績評価表締切(教員)	
24	水	追再試合否発表(1・3年生) 13時～	
3月	3	水	後期追再試験期間(2年生)
	4	木	↓
	5	金	↓
	8	月	↓
	9	火	↓
	13	土	一般B入試 3年編入B入試
	15	月	追再試合否発表(2年生) 13時～
	20	土	卒業式
	21	日	春分の日
	22	月	振替休日



就職セミナーの紹介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2009年度 就職・進学対策行事予定表

音楽学部3年生

月	日	曜	限	教室	講座内容	対象学部・学年
4	9	木	4・5	1-405	公務員採用試験説明会	音楽学部3・4年
5	7	木	4	11-201	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	音楽学部2・3・4年
	14	木	4	5-501	教員採用試験説明会	音楽学部3・4年
6	21	木	4	11-201	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	音楽学部2・3・4年
	4	木	4	5-503	第1回就職ガイダンス～卒業後の進路について～	音楽学部3年
	10	水	5	1-405	自己分析検査 (CAREER APPROACH) ※いずれか1日	音楽学部3年
7	12	金	5	1-405	自己分析検査 (CAREER APPROACH) ※いずれか1日	音楽学部3年
	18	木	4	1-701	第2回就職ガイダンス～なりたい自分と社会とのつながり～	音楽学部3年
7	18	木	5	1-702	第3回就職ガイダンス～作文対策講座①～	音楽学部3年 人間発達学部3年
	1	水	5	1-405	就職模擬試験No. 1 (一般常識) ※いずれか1日	音楽学部3年
	2	木	4	1-701	第4回就職ガイダンス～社会を知る～	音楽学部3年
	3	金	5	1-405	就職模擬試験No. 1 (一般常識) ※いずれか1日	音楽学部3年
	9	木	5	1-702	第5回就職ガイダンス～作文対策講座②～	音楽学部3年 人間発達学部3年
9	16	木	4	5-503	第6回就職ガイダンス～CAREER APPROACHの解説～	音楽学部3年
	9/28～10/9	月～金	—	自宅	作文添削 (9/28～10/9)	音楽学部3・4年 人間発達学部3年
10	1	木	4	1-701	第7回就職ガイダンス～就職活動のすすめ方・就職試験とは～	音楽学部3年
	15	木	4	1-701	第8回就職ガイダンス～業界職種研究・サイトの活用～	音楽学部3年
	22	金	4	5-503	第9回就職ガイダンス～自己表現講座～	音楽学部3年
11	5	木	4	1-701	第10回就職ガイダンス～就職活動のマナー・ルール・手紙～	音楽学部3年
	9～20	月～金	—	自宅	作文添削 (11/9～20)	音楽学部3・4年 人間発達学部3年
	12	木	4	5-503	第11回就職ガイダンス～履歴書・エントリーシートの書き方～	音楽学部3年
	18	水	5	1-405	就職模擬試験No. 2 (SP1) ※いずれか1日	音楽学部3年
12	19	木	4	1-405	第12回就職ガイダンス～エントリーシート攻略テスト～	音楽学部3年
	20	金	5	1-405	就職模擬試験No. 2 (SP1) ※いずれか1日	音楽学部3年
	26	木	4	1-405	公務員採用試験説明会	音楽学部3年
	3	木	4	5-501	第13回就職ガイダンス～内定者・卒業生による講演会～	音楽学部3年
	7～18	月～金	—	自宅	作文添削 (12/7～18)	音楽学部3・4年 人間発達学部3年
1	10	木	11～15時	1-7F	就職活動用写真撮影 (いずれか1日)	音楽学部3年 人間発達学部3年
	10	木	4	1-405	第14回就職ガイダンス～面接対策講座・模擬面接～	音楽学部3年
	11	金	11～15時	1-7F	就職活動用写真撮影 (いずれか1日)	音楽学部3年 人間発達学部3年
1	後日指定	—	—	自宅	第15回就職ガイダンス～春休みの就職活動～	音楽学部3年
1	後日指定	—	—	自宅	就職模擬試験No. 3 (第1回教員採用試験模擬試験)	音楽学部3・4年

※ 上記日程・講座内容は変更・追加することがあります。また、教室変更等についても注意してください。(詳細については、掲示板で確認してください。)

音楽学部4年

月	日	曜	限	教室	講座内容	対象学部・学年	対象者	学外行事(説明会)
4	1～16	水～木	—	自宅	就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	音楽学部4年	教員希望者	会社説明会・セミナー・企業展(以降随時)
	9	木	4・5	1-405	公務員採用試験説明会	音楽学部3・4年	公務員希望者	
	9～17	木～金	—	自宅	作文添削(4/9～17)	音楽学部4年	就職希望者	教員採用試験 要項配布および受付開始
5	23	木	4・5	1-405他	第19回就職ガイダンス 面接対策講座(総まとめ)・模擬面接	音楽学部4年	就職希望者	
	7	木	4	11-201	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	音楽学部2・3・4年	希望者のみ	公務員 要項配布および受付開始
	6～15	水～金	—	自宅	作文添削(5/6～15)	音楽学部4年	就職希望者	
	6～14	水～木	—	自宅	就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	音楽学部4年	教員希望者	5/28 アート&クリエイティブ(音楽系企業説明会) 大阪会場
	14	木	5	5-501	愛知県教員採用試験説明会	音楽学部4年	愛知県採用試験受験予定者	6/5 アート&クリエイティブ(音楽系企業説明会) 大阪会場
6	14	木	5	5-501	名古屋市教員採用試験説明会	音楽学部4年	名古屋市採用試験受験予定者	6月中下旬 保育士試験準備講習会
	21	木	4	11-201	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	音楽学部2・3・4年	全学年対象	7/18 教員採用試験(愛知・岐阜・三重等)
6	15～26	月～金	—	自宅	作文添削(6/15～26)	音楽学部4年	就職希望者	
7								8/8・9 保育士試験(筆記) 下旬 アート&クリエイティブ(音楽系企業説明会) 東京会場
8								
9	9/28～10/9	月～金	—	自宅	作文添削(9/28～10/9)	音楽学部3・4年 人間発達学部	就職希望者	
10	8	木	4	5-504	特別支援学校・講師登録説明会	音楽学部4年	講師登録(教員)希望者	
11	9～20	月～金	—	自宅	作文添削(11/9～20)	音楽学部3・4年 人間発達学部	就職希望者	
12	7～18	月～金	—	自宅	作文添削(12/7～18)	音楽学部3・4年 人間発達学部	就職希望者	
1	後日指定	—	—	自宅	就職模擬試験(第1回教員採用試験模擬試験)<2011年度採用>	音楽学部3・4年	教員希望者	

※ 上記日程・講座内容は変更・追加することがあります。また、教室変更等についても注意してください。(詳細については、掲示板で確認してください。)

2009年度 美術学部・デザイン学部 就職ガイダンス等 予定表

月	日	曜日	内 容	対 象
4月	13～	月	第1回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
5月	14	木	教員採用試験説明会	希望者
	15	金	就職ガイダンス（就職活動における今後のスケジュールについて）	美術学部・デザイン学部
	22	金	インターンシップに関するオリエンテーション	インターンシップ希望者
	25～	月	インターンシップ参加申込受付	—
6月	1～	月	第2回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	12	金	就職ガイダンス（就職活動の流れ・進路調査①）	美術学部・デザイン学部
	19	金	就職ガイダンス（就職活動の流れ・進路調査②）	美術学部・デザイン学部
	29～	月	第3回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
7月	3・10	金	就職ガイダンス（就職適性・自己分析テストの実施）	美術学部・デザイン学部
	17	金	インターンシップ事前研修（ビジネスマナー研修）	インターンシップ参加者
8月	—	—	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
9月	—	—	インターンシップの実施	インターンシップ参加者
10月	—	—	インターンシップ事後研修	インターンシップ参加者
	2	金	就職ガイダンス（就職活動の進め方・就職ナビの活用）	美術学部・デザイン学部
	9	金	就職ガイダンス（エントリーシートの書き方、就職活動におけるマナー・ルール）	美術学部・デザイン学部
	16	金	クリエイティブ系就職ガイダンス（クリエイティブを活かして働く）	美術学部・デザイン学部
	22・23	金	就職ガイダンス（エントリーシート攻略テスト）	美術学部・デザイン学部
11月	6	金	就職ガイダンス（適性試験対策）	美術学部・デザイン学部
	13	金	クリエイティブ系就職ガイダンス（ポートフォリオのまとめ方）	美術学部・デザイン学部
	20	金	就職ガイダンス（面接試験対策）	美術学部・デザイン学部
	27	金	フォローアップ就職ガイダンス①	美術学部・デザイン学部
	30～	金	第4回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
12月	4・11	金	就職ガイダンス（SPI模擬試験）	美術学部・デザイン学部
	18	金	フォローアップ就職ガイダンス②	美術学部・デザイン学部
1月～3月	—	—	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
3月	—	—	就職活動オリエンテーション（新4年生）	美術学部・デザイン学部
	—	—	就職活動オリエンテーション（新3年生）	美術学部・デザイン学部

※ 予定は変更・追加になる場合があります。日時は掲示等で確認してください。
 ※ 各種就職支援講座・資格取得講座は上表日程以外でも実施予定の講座があります。

2009年度 人間発達学部3年生 就職対策行事予定表

月	日	曜	限	教室	講 座 内 容	対象学部・学年
5	21	木	5	1-702	第1回就職ガイダンス～卒業後の進路について～	人間発達学部3年
6	10	水	5	1-702	自己分析検査（CAREER APPROACH）※いずれか1日	人間発達学部3年
	12	金	5	1-702	自己分析検査（CAREER APPROACH）※いずれか1日	人間発達学部3年
	18	木	5	1-702	第2回就職ガイダンス～作文対策講座①～	人間発達学部3年 音楽学部3年
7	1	水	5	1-702	就職模擬試験No. 1（一般常識） ※いずれか1日	人間発達学部3年
	3	金	5	1-702	就職模擬試験No. 1（一般常識） ※いずれか1日	人間発達学部3年
	9	木	5	1-702	第3回就職ガイダンス～作文対策講座②～	人間発達学部3年 音楽学部3年
	23	木	5	1-702	第4回就職ガイダンス～CAREER APPROACHの解説～	人間発達学部3年
9	9/28～ 10/9	月～金	—	自 宅	作文添削（9/28～10/9）	人間発達学部3年 音楽学部3・4年
11	5	木	5	1-701	第5回就職ガイダンス～社会を知る・就職活動のすすめ方～	人間発達学部3年
	9～20	月～金	—	自 宅	作文添削（11/9～20）	人間発達学部3年 音楽学部3・4年
	18	水	5	1-401	就職模擬試験No. 2（SPI） ※いずれか1日	人間発達学部3年
	20	金	5	1-401	就職模擬試験No. 2（SPI） ※いずれか1日	人間発達学部3年
	26	木	5	1-702	第6回就職ガイダンス～履歴書・エントリーシートの書き方～	人間発達学部3年
12	3	木	5	1-702	第7回就職ガイダンス～履歴書添削テスト～	人間発達学部3年
	7～18	月～金	—	自 宅	作文添削（12/7～18）	人間発達学部3年 音楽学部3・4年
	10	木 木	5	1-701	第8回就職ガイダンス～就職活動のマナー・ルール・手紙～	人間発達学部3年
				1-7F	就職活動用写真撮影（いずれか1日）	人間発達学部3年 音楽学部3年
				1-7F	就職活動用写真撮影（いずれか1日）	人間発達学部3年 音楽学部3年

※ 上記日程・講座内容については変更・追加することがあります。また、教室変更等についても注意してください。
 〈詳細については、掲示板で確認してください。〉

親の想い

心の栄養を蓄える

美術学部 美術学科 洋画コース
1年 母 安藤孝子

芸術は“心の栄養を蓄える”ということを知ったことがあります。今まさに、我が子達はその蓄積に努力していると思うと、エールを送らずにはいられません。

心に蓄えを積むという事は、何かしら安堵感もでてきます。蓄えがあれば非常時でも、まだ余裕があるということが言えるからです。子の時代、心がやせては後々、不安です。

大学の先生に生演奏で迎えられた入学式は、美の追求と創造の表現という、ふりそそぐ洗礼をしっかりと受け、歓迎していただいたと強く感じました。

子供は、この先の基礎となる4年間の文教によって大きく変わっていくことでしょう。

権威のある教師から何を学び得て、どんな学友と語り、幾多の経験を積むのでしょうか？大学時代は開放的で自由ですので、自らの志しが揺らぐと墜落しがちになりやすいですが、卒業生や諸先輩方の輝かしい功績を思いますと数も多く、その時々先生方の熱意と懸命さで生徒を善導されているという事がうかがえ安心出来ます。

そして我が子も、ここで学んだ事が糧となり、この先、自分の作品が人生が沈まぬように、威風堂々として生けるよう願っています。

今はきつと素描期。

沢山の呼吸によって自分だけの色がだせ、人生のギャラリーにどんなモチーフで絵画を飾るのでしょうか。

その為にはまず、4年間。

この名古屋芸術大学での文運を祈るばかりです。



息子の結論

人間発達学部 子ども発達学科
1年 母 内海珠美

昨夜からの雨は朝になっても降り止まず、久しぶりに何だかゆったりした休日を過ごす事となった。「何か飲むか」と言う夫に紅茶を用意する。部屋中にいい香りが広がり、穏やかに、緩やかにのんびりした時間が流れていく中、「おい、あのBGMはなんとかならないのか。まるで壊れたレコードだぞ。」

そうなのです。息子の練習する電子ピアノの音が、見事に同じ所で、同じように間違え、素敵なティータイムが、まるでお笑いのようにになってしまうのです。

でも、1年前を思い出せば、いつまでも決まらない進路を心配し、ここで息子と夫は長い話し合いをし、私はといえば、ただおろおろと心配するばかり。やっと重い腰を上げ、自分の未来を、将来を考え出した息子の結論。あの子らしいと言えばあの子らしいのだけれど、男の子の進路としてはどうなのかと親の私達の心配は尽きなかった。

人間発達教育学部と聞いても、具体的に何をやる所なのかも分からず、女の子の学部じゃないのかとも思ったりした。

幸い息子は自分の思い通りこの大学に合格でき、毎日いきいきと学生生活を送っている。自分の進む道を見極めきれず迷う子もいる中、より明確に進路を決めていく息子の成長をたのしく見ている。

圧倒的に他の方達より遅れているピアノを何とかするため、自分からピアノ教室にも通い出した。小さな子達に混ざり、続くのかと心配したが、目的があれば続けられるらしい。

「あれでも随分上手になったのよ。何とか両手で弾けてるでしょ」

もしかしたら近い将来には飲んでる紅茶を嘔き出さずに済むようなピアノが聞けるかもしれない。人間は発達することができるのが我が身で証明しているのだろう。

1つの事が自信になり、他にもいろいろな事を自分の力としていってくれると信じている。

ただ、どんどん大人になっていく息子を、もう子供ではなくなったと認めるのは淋しくもある。悔いのない大学生活を4年間過ごして欲しい。くれぐれも漠然と4年を過ごす事がないように親として願ってやみません。

子の想い

芸大生になって

音楽学部 アートクリエイターコース
1年 片山 望

私には姉が二人います。小さい頃から姉たちの影響もあって、絵を描いたり、物を作ったり、写真を撮ったりすることが好きでした。

高校生になった頃から、その漠然とした「好き」という気持ちをもっと知りたい勉強してみたいに変わってきました。

今まで美術の勉強は授業で習う程度でした。それで高校の美術の先生に描いた絵を見てもらったり、指導してもらいながら勉強してきました。名古屋芸術大学に合格できた時は、本当にうれしかったです。

入学して、朝早くの電車の通学ラッシュはつらいですが、今までの数学や化学の授業とは全然ちがいで、自分の興味のあるものに打ち込んだり、まだやった事のないジャンルや知らない技法を学んだりとても新鮮な毎日です。

先生方も個性的で自由な感じがして面白いです。もちろん仲間たちとは仲良しですが変わった人たちもいっぱい、毎日の大学生生活、本当に楽しく過ごしています。又、学校のあちこちに作品があるのも美術館みたいな感じがしていいなと思います。

今、私には二つの夢があります。一つは高校の美術の先生です。私が高校生の時、美術の先生に背中を押して頂いて芸術大学を目指したこと、そして美術の幅広さ、楽しさ、おもしろさを伝えてあげたいと思います。

もう一つはカメラマンです。今、いろんな被写体や瞬間の写真を撮る事がとっても楽しく意欲がかきたえられるのです。

まだまだ、いろんな面で未熟な自分ですが、先生方の熱心な指導や先輩、友人たちからの刺激を自分の中に取り込んで成長していけたらいいなと思っています。

大学生になって思うこと

美術学部 美術学科 洋画領域
1年 古澤実希

中学の頃から目指して来た、美術大学に入学出来、早5ヶ月が過ぎました。正直まだ目の前のすべき事だけを考えているだけで、精一杯の毎日です。

大学生になって思うことの一つに、今までの学校の友達と違い、新しく出来た大学の友達は、同じ事を目指して来ただけあって、同じような物の考え方であったり、同じ様な感性をもっていたりと、自分がとても自然体でいられる事が出来る事で、色々な事に刺激を受け、その刺激を素直に自分の中に、新しい自分として受け入れられる、そんな自分を発見出来たと言う事をうれしく思っています。

大学で、私の好きな場所があるのですが、それはアトリエの前にあるソファです。放課後であったり、授業の合間など、皆自然とそのソファに集まります。そこで話していると、時間も忘れてしまう程、楽しい時を過ごす事が出来るのです。そこにソファがあるから、皆が集まる。そんな心地よいアトリエの前のソファのある場所が私はとても大好きです。

最後に、これから先の大学での楽しみですが、洋画コースでは2年になると、自分のスペースのアトリエを与えてもらえる事です。自分の世界の中で集中して絵に打ち込む事が出来るスペースなんて、今からとても楽しみです。まだ全体のシステムもわかっていないのですが、卒業するまでに色々な事に挑戦して楽しい大学生活を送っていこうと思っています。



先輩の活躍



子ども達の笑顔のために

2008年度 音楽学部 演奏学科
ピアノコース卒業

安間 舞

私は、知的障害児施設で働いています。大学生活の四年間をピアノ中心に過ごしてきた私ですが、『子ども達の笑顔が永遠に続きますように…』と願って毎日を過ごしています。

大学で学んできた事とは全く違う分野に飛び込んだ私は、時を重ね、任される仕事の重みを増すごとに、いかに療育について無知であるかを気づかされています。先輩の先生の子どものとの接し方や、褒める時と叱る時の声のトーン・表情の使い分け方、意識が一つに集中しにくい子ども達の注目のさせ方などを観察し、まず真似をする事から始めました。その中で、自分に合った子どもとの接し方・関わり方を見つけていきました。

学園での生活や療育は解らない事が多いですが、「解らない」まま済ませたり、すぐに先輩に答えを求めたりするのはなく、解らない中で自分なりの答えを見つけ実践します。

それが失敗に終わったとしても、反省点を見つけまた実践し、それでも解らなかつた事を先輩に質問する様に心掛けています。思う様にいかず弱音を吐いてしまう私

に、プロである先輩はとても優しく、私にも実践できるアドバイスを下さいます。

子ども達と「音」を共有する時間は私にとって、とても幸せな心地良い時間です。音楽が流れると、床に寝転がる子・ダンスをする子・空を見上げる子・大きな声で歌う子、それぞれの方法で皆違った表現で、その子なりの“自由な音楽”を表します。私はこの「自由」「音楽」「表現」を療育の中に取り入れる事を目標に、この一年間努力していきたいと思っています。

何よりも輝く子ども達の笑顔に囲まれ、私はいま現在、とても幸せです。

(知的障害児通園施設 浜松市根洗学園 勤務)



目標は今の自分を越えること

2008年度 音楽学部 音楽文化創造学科
音楽総合選択コース卒業

藤山 哲

私は、株式会社上組という会社の製鋼課で鉄の検査をしています。ここでは、鉄をスラブと呼んでいます。スラブに疵がないかを検査し、疵があると溶削加工をします。この製品は、自動車の部品や、船の部品、ジュースの缶、等に使われます。

音楽に全く関係なく、ゼロからのスタートで今日まで仕事をしてきました。正直、仕事をする事は、こんなにも責任があることだとは思っていなかったため、大変さを痛感しています。4月当初は、毎日初めてのことで、ただ、話を聞いて一日一日必死に過ごしてきました。社会人になっても勉強しなくてはいけないのか、と思い正直嫌気がさしていました。でも、同期の人が全員4歳下で、負けたくないなと考え、それから今日までずっと頑張っています。

そして、今はやりがいのある仕事だと思っています。何より『品質の上組』として非常に責任のいる仕事です。精神的にも肉体的にも辛い仕事ですが、人間的に成長していると実感しています。また、知識が多く必要な仕事のため、分からない事は先輩に聞きながら、必死に日々知識を詰め込んでいます。

まだまだ、知識も少なく未熟ですが、一日一日しっかり勉強して先輩に追いつき、今の自分を越えることを目標に頑張っています。

(株式会社上組 勤務)





写真を通して表現すること

2008年度 デザイン学部 デザイン学科
メディアデザイン選択コース卒業

江川智也

初めまして、36期卒業生の江川智也です。

名古屋芸術大学メディアデザインコースを卒業後、僕は現在、名古屋放送局（NHK）が制作している「中学生日記」のスチールカメラマンとして仕事をやらせて頂いています。仕事の内容としましては、ロケ現場やスタジオ収録現場等に同行し、出演している中学生の役者の子達の、真剣に演技している様や、本番前等のリラックスした素の表情、現場の雰囲気等を写真におさめるというのがメインでやらせて頂いています。他にも、フリーペーパーの表紙の写真やクラブイベントでのスナップ、ファッション紙のストリートスナップ等もやらせて頂いています。

そもそも何故、写真の道を選んだのかというと、長かった学生生活の中で、様々なカリキュラムを通して色々なことを学ばせて頂きました。その中でも、3年生の時に課題として出された、“写真集を作る”という課題がきっかけになっています。それまで、今ひとつ“自分が何をやりたいのか？”が、はっきりとしておらず、中々自分の道を決めあぐねていました。その時も、特に写真というものを意識はしていませんでしたが、作品を作り出すにつれ、自分の中に写真を通して何かを表現するという



楽しさが、芽生えてきました。作品自体も、その時の担当であった教授に良い評価を受け、そこで更に自分の中に“これだ!!”という手応えを感じました。それからも、コースを通じて僕の面倒を見て下さった、各教授、僕の話聞いて下さったコース以外の先生や事務の方々、多方面で活躍している諸先輩方、色々な個性を持つ同僚達のお力添えがあり、無事に卒業する事が出来ました。卒業制作も写真の作品を展示する事が出来、色々な人の声も聞かせて頂きました。

現在、やらせて頂いているNHKの仕事も、写真でやっていこうとしていた僕に、良くして下さい教授のお話がきっかけになっています。今の僕は様々な人の恩恵の上に成り立っているのだと自覚し、今はまだ新たな世界で右も左も分からない状態で、周りのスタッフさん方にご迷惑を掛けたり、助けられたりと、日々勉強をさせて頂いていますが、今までお世話になった方々に少しでも恩返し出来る様、活躍の場を広げられる様、一所懸命にやっていこうと思います。

仕事と制作の両立

2008年度 美術学部 絵画科
洋画コース卒業

及川裕子

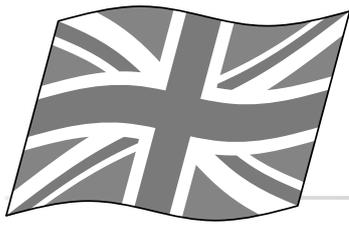
入社してみて思ったことは、想像以上に覚えることが多く、勉強がいるということです。最初は知識も勉強も不十分で、お客さんを相手にしていても、どうしていいかわからないことがたくさんありました。また、ひとつのミスがお客さん、それに上司にも迷惑をかけてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。先輩、上司がうまくフォローしてくれるので、前よりは安心して仕事ができるようになりましたが、まだ自分の仕事を十分できないので、もどかしいです。

制作の方は、仕事をしながら続けていこうと思っていました。今は夜と土日に制作時間をとっているのですが、最初のうちは仕事でつかれて、制作をするので思うようにはかどりませんでした。最近ようやく落ち着いてきて、

少し時間が取れるようになってきたところです。学生のときは時間が十分にあり、勉強に使うのが遊びに使うのが自由でしたが、今は時間をうまく使わないと、やっていけない状態です。大学の、時間もアトリエもある環境がありがたいものだったんだと、今になって思います。

仕事と制作を両立させていくために、意志を強くもたなければ、途中で制作活動をやめてしまうと思います。正直、もう無理かもしれないと弱気になってしまうこともあります。気持ちを立て直してやっています。

一日一日がものすごい速さで過ぎていき、大学を卒業したのが半年前というのが信じられないくらいです。今後は作品の発表など考えていこうと思っています。そのために早く仕事になれて、余裕を持ちたいです。仕事はつらいこともあるし、嫌なこともあります。社会勉強としてはいい経験になると思うので、プラス思考でがんばりたいと思います。



University of Brighton
Degree Show

ブライトン大学 デイグリーショーに参加して

後援会副会長 後藤優子

6月3日(火)から6日(土)、イギリス・ブライトン大学でデイグリーショーが開催され、後援会の代表として参加し、「名古屋芸術大学賞」を授与してきました。本来ならば、現会長の役割なのですが、日程上の問題と昨年に続き2回目ということもあり、急遽、私が行かせて頂くことになりました。折しもインフルエンザ騒ぎのまっただ中で…最終的にイギリス行きが決まったのは5月の半ばでした。参加者は、澤脇副学長、和田教授、須田准教授、私の4名です。

大学のあるブライトン市は伝統的な美しさと近代的な美しさを合わせ持つ魅力的な町で、大学から歩いて5分ほどで美しい海岸に出ます。私たちが到着した日は天気が良く、大勢の人が砂浜で肌をやいたり、泳いでいました。(夏の季節は短いので暖かく感じるとすぐ泳ぐそうです)



短い夏を楽しむ人々



プレゼンをする学生と

さて、まず一日目は審査です。デザイン、絵画、彫刻、建築、ファッション、アートミュージック、etc幅広いジャンルの作品を一気に見て回りました。それぞれの専攻の教授、あるいは制作者本人から作品のプレゼンを受け、その中から受賞者を選定しました。プレゼンをする学生はみんなしっかり自分の作品についてテーマやコンセプトを熱く語り、ちょっぴりシャイな？日本の学生との違いを感じました。また、本大学にない専攻分野の作品も多くあり、「これはアートですか？それとも音楽？」と思わず質問してしまうなど、とても興味深かったです。



審査の様子



審査員の前でパフォーマンスする学生

2日目はOffでみんなそれぞれ自由行動です。私は須田准教授のお薦めでセブンシスターズへたったひとり、バスで出かけました。車中自然の美しさに気をとられ乗り過ごし、結局、崖っぶちの白い海岸線を5時間くらいただひたすら歩き続けました。イギリスに来て私はいったい何をしているのだろうと思いつつも、その自然の壮大さに圧倒されいやが応でも自身と対峙する羽目に…。いい経験をしました。



セブンシスターズ

3日目はレセプション参加と大学関係者との昼食会です。ここで河野先生(名古屋芸術大学客演教授)夫妻と同席になりいろいろ興味深いお話を伺いました。また、この席で澤脇副学長が得意の美声を生かし「荒城の月」を歌い拍手喝采をあげました。

4日目はいよいよディグリーショーです。午前中は近くの美術館へ…河野夫妻と昼食をとり、その後スピーチの原稿を河野夫人に添削・指導していただきました。そしてついに本番…。まずソウル国立美術大学が表彰を行い、続いて本学の表彰です。最初に澤脇副学長から日本人形の授与と堂々たるスピーチ、次に須田准教授のしっかりしたスピーチ、そして私の番です。女は度胸！メモ

は着物の胸にしまい込み、なんとか空でスピーチを終えることができました。(会長代理の任を果たすため？せめて形だけでも…と日本から着物を持参しました)そして和田教授が受賞者の名前を呼び、私が賞状、賞金、副賞を手渡しました。日本チームはとてチームワークがよいと褒められました。

その後ブライトン大学による表彰。そして学生たちによる恒例のファッションショー(モデルはプロです)で盛り上がりました。ファッションが有名な大学と聞いていましたがそのレベルの高さに驚きました。生まれて初めてのイギリス…もっと若い頃に訪れていたら、人生変わっていたかも？もう一度学生に戻って勉強したい…そんな思いに駆られました。今度は子どもと一緒に…いえ一人でもまた訪れたい！そう強く思いました。



学生によるファッションショー

International Student Information

東キャンパス 留学生ウェルカムパーティーを終えて

2009年度名古屋芸術大学東キャンパスに在籍する留学生（正規生11名及び非正規生（研究生）4名）と、交換留学生（慶南大学より2名、デンバー大学より1名）を招待して、東キャンパス2号館ロビーにて6月17日（水）に「留学生ウェルカムパーティー」を開催（参加した留学生合計18名）しました。

東キャンパスでは昨年度第1回目の「留学生ウェルカムパーティー」が開催され、今年度は2回目の開催となります。開会に際し、国際交流センター長の竹本義明教授より歓迎の挨拶があり、留学生を直接受け持つ実技指導担当教員や授業担当教員、また、学生支援課の職員からも歓迎の言葉や留学生の現況報告がありました。その後、交換留学生への歓迎演奏として本学大学院音楽研究科声楽専攻2年生岩田亜衣さん（ピアノ伴奏：釣由美さん）による歌の披露（曲：ブッチーニ：トウーランドットより「氷のような姫君も」、ブッチーニ：ジャンニ・スキッキより「私のお父さん」）があり、留学生からはデンバー大学のトーマスさんより交換留学生を代表してお礼の言葉と歌の披露（曲：ドニゼッティ：ドン・パス

クワレより「天使のように美しい」、グノー：ファウストより「門出を前に）」があり、双方のすばらしい歌声に会場の2号館ロビーに同席していた全学生から、盛大な拍手が沸き上がりサプライズな交流演奏会となりました。その後、懇親会に移り、すでに日本人学生と交友関係のある留学生が日本人学生とともに参加する姿も見られ、和やかな雰囲気の中、国籍を越えたほのぼのとした微笑ましい交流会となりました。

現在日本では「留学生30万人計画」という国を挙げての「グローバル戦略」が進められています。本学でも年々留学生の受け入れは増加していく傾向にあり、留学生への支援体制について更なる充実が必要となることが考えられます。留学生の活躍を支援し見守りたいと思っています。

■2009年度東キャンパス留学生数

大学院音楽研究科	3名
音楽学部生	8名
音楽学部研究生	6名
交換留学生（1年間在籍）	2名
交換留学生（短期2週間在籍）	3名
合計	22名

西キャンパス 「前期来訪交換留学生歓迎会」回想



この4月『学生支援課』の中で国際交流センターは恒例の前期来訪交換留学生を対象にしてささやかなる歓迎会を4月27日（月）午後5時より北の学生食堂に於いて実施した。

タイ国はスリナカリンウィロット大学より版画の3名、洋画の2名計5名共に英国はファルマス芸術大学のテキスタイル1名、ブライトン大学より版画1名、メタル1名、ファインアート1名、サウンドメディア1名に加え半期留学の韓国は慶南大専校より2名、龍仁大専校2名の14名の学生とフランス国からデザイン学部へ研究員で来日した人を加え盛會に終了した。

学内に於いて我こそは！と語学に滅法自信のある沢山の学生の参加で充実した。来日間もなく片言の日本語会話に熱心な留学生は参加した在学生や大学関係者を前にして懸命で個々アピールに務めた。



NUAに留学する以上は少しでも早く打ち解けるのがコミュニケーションの最良の裁量才量であり滞在中は一人でも多くの友人を持ち話す事が命となっていく。

不慣れな環境をも物ともせずポジティブ志向の中で切磋琢磨していく留学生達を心から見え守り学生に繋げて行くのが国際交流センターの使命と思います。

西キャンパス『学生支援課』（国際交流センター）

川島憲雄

クラブ紹介

	クラブ名	活動内容	活動場所
1	ピンポン☆DASH	卓球を通して、体力、集中力の増進を目指し、学生生活に生かす。	東キャンパス
2	ミュージックボランティア	大学の授業の実習以外での音楽・音楽療法活動を行う。	
3	ジャズ研究会	楽器によるジャズセッションを行う。	
4	フラワーショット	テニスを通じ、他学科、他学年との交流を深める。心身を鍛えテニスを楽しみ人間的にも成長する。	
5	フットサル	普段の学生生活の中ではあまり経験できないフットサル(サッカー)(チームプレー)を通じて、他の学科、学部の人などと交流を深め、自己を高めていく。	
6	ジャンバスウィングオーケストラ	BIGBANDの演奏を通してよりよい音楽感を身につけ、感性豊かな人間形成を目標とする。たま、団体行動の中で個々の協調性を養う。	
7	KARADA 研究所	筋力と体力と精神力をつける事によって、声楽やピアノ、ミュージカルなどに必要な身体能力を養う。	
8	黒 一 色	卓上ゲームを学び伝統のある卓上競技で人との接触や人間としての性質や交友関係を深め大学内においての結束や人間関係の向上、また、大会などでの団結力の向上を計る。	
9	ルーディメンツクラブ	名芸のドラマーの技術向上。苦しい練習でもみんなでやれば楽しくなるをモットーに集団練習。マーチング楽器等で発表する場を設け、練習意欲を高めていきたい。	
10	爆 音 楽 部	月1~2回程 ライブを行う。野外音楽フェスティバル出演が最終目標。	
11	バドミントン部	バドミントンを通じて体力作りを行う。	
12	名古屋芸大陸上部	陸上競技のいろいろな種目を楽しみ、陸上競技のことをあまり知らない人たちに陸上競技の良さを知ってもらおう。	
13	タッチフット	タッチフット、ソフトバレー等を通じ、友情を深める。	
14	ソフトテニスクラブ	ソフトテニスをみんなで楽しみ、初心者の方もみんなで教え合いながら練習し、市の大会などに自分たちで出場する。また、他大学との交流試合や大会へも参加したい。	
15	自然とくらしを楽しむ会	自然をカラダで感じたい！伝承遊びを伝えたい！伝承行事・伝承料理・昔ながらのお菓子などを作りみんなに伝えたい！そして大学の行事を支えたい！	
16	リズム体操部	ラート、Gボールを用いてバランス感覚を養い、また、幼児体操ではリズム感を身に付ける事を目的とする。	
17	ゴスペルサークル	堅苦しい音楽に囚われず、自由に表現し楽しく歌を歌う。歌う方も聞く方も楽しめる音楽を作り出すことを目標とする。	
18	和太鼓部	保育園・幼稚園の夏祭りや学祭、オープンキャンパスなどで演奏をするための練習を目的とし活動する。	
19	tennisub	テニスを通じて、精神、体力を鍛え、交流の場を広げる。	
20	ゴンススキー部	スキーを楽しみながら、スキーに必要な体力を身につける。また、団体生活を通して団結力を深め、社会に必要な礼儀を身につける。	西キャンパス
21	着付け部	着付けを通して、日本に古くから伝わる美とその精神を学びとる。	
22	郷土文化研究部	郷土資料の研究を通じ、我々の精神のルーツを再認識し、豊かな感性と確かな知性を身に付ける。また、共に作業を行うことで、友情を深め、切磋琢磨していくことを目的とする。	
23	空手部	空手を通して、心身の鍛錬及び護衛術の体得。豊富な器材を使つての筋トレ、体作り。	
24	バドミントン部	バドミントンを通して、運動不足を解消し、健康な体作りを目指す。また、学部の枠を越えた人付き合いも目指す。	
25	サッカー部	サッカー部のモットーは「両立」。大学生活を、心身ともに、より充実した生活を送れる様に、サッカーを通して、たくさん笑い、楽しんで、より勉学に励むことを目的とし、共に成長し合えるように活動したい。	
26	動画漫画研究部	動画や漫画の制作を通して、自己表現の枠を広げる。	
27	写真部	写真技術の向上と写真表現の研究。写真部員同士による、写真と美術、デザインに対する関わりの研究。	
28	自由音楽部	自由に音楽を楽しむことを目的とし、クラブや野外でのイベント、演奏、パフォーマンスをするため、日々練習をしている。音楽で空間や気持ちを盛り上げ、自由な音を発信する部活。	
29	軽音部	音楽を通して異なる学科との交流を深め、学校行事に積極的に参加し、大学生活の充実を図っている。活動内容は、それぞれのグループに分かれてバンド活動を行い、楽器などの上達や、人との交流を深めている。	
30	卓球部	卓球大会に向けて、誰でも卓球は楽しめるから、皆で楽しむため。	
31	陶芸部	粘土を使って、物作りの楽しさや難しさを知ってもらい、作ったものを自分で使用したり、芸祭で売ったりする。	
32	サマータイムブルース(野球)	部員が、好きな野球を通じて、運動のみならず、勝利というものを意識して、お互いが励ましあい、支え合い、協調性や気配りなど、人間として、社会に出ても活躍できる人格の土台作りの場を作るため。	
33	自然研究部(ファニシング)	創造する行為を通して、普段何気なく感じていたことを、違う視点から捉えることによって、新しい発見や感性を磨き、創造力を養っていく。	
34	剣道部	剣道を通しての人間形成。	
35	版画部	版画の普及、版画を選択していない学生に体験をしてもらう。	
36	バスケットボール部	楽しい学校生活を送るため、心身の健康を保つため、他学年との交流を図るため。	
37	バレーボール部	バレーボールの練習、試合。体を動かして、良い人間関係をつくる。	
38	演劇部	演劇を通して、自己の表現力の幅を広げると共に、団体で一つのことをする難しさを学ぶことを目的とする。	
39	レーシング部	レーシングを通して、仲間たちとの交流、技術と心身の向上を目指す。	
40	フォークギター部	ギターを通して友達との交流を図り、ギターの上達と人間的成長を高める。	
41	ストリートダンス部	ダンスをする事で、体を動かし健康的になり、ダンスで自己表現をして、皆で楽しむ。皆で一つのショーを作り上げることで学年の壁をなくして楽しむ。学祭を僕等のダンスで盛り上げたい。	
42	m & m ' s	映画を通して外国の言語や文化に触れ合い、皆と交流する。	
43	名芸映像研究部	映像作品の制作、上映、公募展等への出品。また、映像を通して色々な分野での幅を広げる。	

2009年4月1日現在

2009(平成21)年度 名古屋芸術大学音楽学部主催による演奏会案内

(※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。)

2009

7 July

第11回 ピアノコンチェルトの夕べ

指揮/古谷 誠一
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ
曲目/ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲
第2番 他
日時/7月8日(水) PM6:30開演予定
会場/三井住友海上しらかわホール
入場料/無料(全席自由)

8 August

第11回 ピアノ・サマーコンサート

日時/8月4日(火) PM5:30開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

9 September

ウィンドオーケストラ 第28回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァン＝デル＝ロースト
竹内 雅一
曲目/プロコフィエフ:ロメオとジュリエット(J.デメイ編曲) 他
日時/9月29日(火) PM6:30開演予定
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1000円(全席自由)

10 October

オーケストラ 第27回 定期演奏会

指揮/古谷 誠一
独奏/ファルヴァイ・シャールド
曲目/マーラー:交響曲第1番(予定) 他
日時/10月15日(水) PM6:45開演予定
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1000円(全席自由)

研究生特別演奏会

日時/10月29日(水) PM6:00開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

11 November

第17回 ピアノの夕べ

日時/11月5日(水) PM5:30開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

第32回 定期演奏会

日時/11月12日(水) PM6:00開演予定
会場/三井住友海上しらかわホール
入場料/無料(全席自由)

12 December

第28回 室内楽の夕べ

日時/12月10日(水) PM6:00開演予定
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料(全席自由)

電子楽器コース演奏会

日時/12月11日(木) PM6:30開演予定
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料(全席自由)

2010

2 February

大学院音楽研究科特別演奏会

日時/2月9日(火) PM5:30開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

平成21年度 研究生修了演奏会

日時/2月10日(水) PM6:00開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

第8回 歌曲の夕べ

日時/2月12日(木) PM6:30開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン

第11回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァン＝デル＝ロースト
小野川 昭博
日時/2月19日(金) PM6:30開演予定
会場/未定
入場料/1000円(全席自由)

第14回 春のコンサート ピアノのしらべ

日時/2月20日(土) PM5:30開演予定
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料(全席自由)

オペラ公演「小さな魔笛」

指揮/倉知 竜也
演出/名古屋芸術大学オペラ研究室
日時/2月27日(土) PM1:00開演
会場/三重県文化総合センター小ホール
入場料/無料(全席自由)

3 March

第37回 卒業演奏会

日時/3月4日(水) PM6:00開演予定
3月5日(木) PM6:00開演予定
会場/三井住友海上しらかわホール
入場料/無料(全席自由)

オペラ公演「小さな魔笛」

指揮/倉知 竜也
演出/名古屋芸術大学オペラ研究室
日時/3月9日(火) PM6:00開演
会場/岐阜市文化センター小劇場
入場料/無料(全席自由)

大学院音楽研究科 第12回 修了演奏会

指揮/松浦 修
管弦楽/コレギウム・アカデミカ(名古屋
芸術大学の教員を主体に編成され
たオーケストラ)
日時/3月10日(水) PM6:30開演予定
3月11日(木) PM6:30開演予定
3月12日(金) PM6:30開演予定
会場/三井住友海上しらかわホール
入場料/無料(全席自由)

オペラ公演「小さな魔笛」

指揮/倉知 竜也
演出/名古屋芸術大学オペラ研究室
日時/3月13日(土) PM2:00開演
会場/愛知県芸術劇場小ホール
入場料/無料(全席自由)

ミュージカル公演 「Fairy Tales II」

脚本・演出/森泉 博行
音楽/井上 堯之、長谷川 雅大
振付/名倉 加代子
指揮/竹内 雅一
日時/3月18日(水) PM6:30開演予定
3月19日(木) PM2:00開演予定
会場/名古屋市芸術創造センターホール
入場料/1000円(全席自由)

平成21年度 音楽企画(7) “ザ・ルネッサンス21”

指揮/未定
管弦楽/セントラル愛知交響楽団
日時/3月24日(水) PM6:00開演予定
会場/名古屋芸術大学3号館音楽講堂ホール
入場料/無料(全席自由)

●お問い合わせは●

名古屋芸術大学音楽学部 演奏課

〒481-8503

愛知県北名古屋市熊之庄古井281

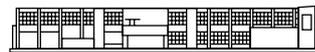
TEL (0568) 24-5141

アート&デザインセンター 2009/2010 展覧会スケジュール

2009	
4月3日(金)~4月15日(水)	デザイン学部レビュー選抜展
4月17日(金)~4月22日(水)	乙女展
4月17日(金)~4月22日(水)	俺展
4月17日(金)~4月22日(水)	その日の夜、夜空に現れた木星と金星と三日月は既に笑顔をつくって いなかったんだ!
4月24日(金)~5月6日(水)	game boys
4月24日(金)~5月6日(水)	私のシルクロード
5月8日(金)~5月13日(水)	写真部展
5月8日(金)~5月13日(水)	AOBE
5月15日(金)~5月20日(水)	書道演習作品展
5月15日(金)~5月20日(水)	peace nine '09
5月23日(土)~6月2日(火)	2009年度企画展 映像メディアのコンテクストーmediaselect 2009
6月5日(金)~6月10日(水)	FROM REMISEN #11
6月12日(金)~6月17日(水)	名古屋芸術大学教員展
6月19日(金)~6月24日(水)	インプロヴィゼーション
6月19日(金)~6月24日(水)	reconstruction
6月19日(金)~6月24日(水)	Coming-out1
6月26日(金)~7月1日(水)	洋画2コース選抜展
7月3日(金)~7月8日(水)	名古屋芸術大学前期交換留学生作品展
7月3日(金)~7月8日(水)	マット・ソス個展
7月10日(金)~7月29日(水)	2009年度企画展 模型で見るミュージックシーン
7月31日(金) 8月5日(水)	素材展
8月6日(木)~9月14日(月)	夏期休館
9月15日(火)~9月19日(土)	一人称展
9月24日(木) 9月30日(水)	To soft sculpture
10月2日(金)~10月7日(水)	フィリップ・ブース2002-2009, A JAPANESE RETROSPECTIVE
10月9日(金)~10月14日(水)	JAGDA新人賞受賞作家作品展2009
10月16日(金)~10月21日(水)	アーツ!ラジオ a`aarts! RADIO
10月23日(金)~10月28日(水)	大学院洋画制作展
10月30日(金)~10月31日(土)	美術学部コース紹介展
11月6日(金)~11月11日(水)	新世代ガラス展/G.E.N
11月13日(金)~11月18日(水)	彫刻AB展
11月20日(金)~11月25日(水)	遭遇するドローイング'09展 Erwin Regl, 伴野祥久、栗木義夫、 長谷川直美
11月27日(金)~12月2日(水)	MCD&aデザイン学部メディアコミュニケーション デザイン&アート展
12月4日(金)~12月9日(水)	名古屋芸術大学後期交換留学生作品展
12月4日(金)~12月9日(水)	幼稚園児たちのゲイジツ展
12月11日(金)~12月16日(水)	工芸選択コース作品展
12月26日(土)~1月7日(木)	冬期休館
2010	
1月8日(金)~1月13日(水)	日本画3年作品展
1月15日(金)~1月20日(水)	洋画3年油画展
1月26日(火)~2月2日(火)	AFTER REMISEN #11 柴田麻衣+平田あすか

◎スケジュールは変更になる場合がありますので、事前の確認をお願いいたします。

Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

TOPICS *pick up*

名古屋芸術大学ミュージカルが 「第3回大邱国際ミュージカルフェスティバル大賞特別賞」 を受賞しました！



去る、6月15日(月)から7月6日(土)に韓国大邱市で第3回大邱国際ミュージカルフェスティバルが開催され、本学ミュージカルコースが「大賞特別賞」を受賞しました。

このフェスティバルは、韓国では国をあげてのイベントで、今回で3回目の開催になります。参加国も韓国をはじめ、中国、ロシア、アメリカ、日本(本学)と、各国から予選を勝ち抜いたプロ、学生の24団体の公演が22日間に渡って行われ、技量を競い合うというもの。

本学の参加は一昨年と今回の2回目招待参加で、今回の演目は「プリティー マイティー ジャンヌ」。ジャズを楽しむことを禁じられた時代に、救世主ジャンヌが現れ、若者にジャズの楽しみを取り戻すのだが、最後にはその代償としてジャンヌが犠牲になる…というストーリー。本学の公演はフェスティバル最終公演日の7月4日(土)、15時と19時の2回で、大邱市内の啓明大学アートセンターで開催されました。

1回目の公演は、開場2時間前から、座席指定券を求める観客の列がではじめ、開演時には約1000名が来場。韓国のお客様は大変ノリが良く、キャストが登場するやいなや、指笛や歓声が吹き荒れました。

始まりは、観劇中の注意事項をひょうきんな演劇と韓国語で説明をするところから。キャストが練習に練習を重ねた韓国語に、お客様のクイックなレスポンス。見ているスタッフも韓国のお客様と同化し、思わず歓声を上げていました。公演は約2時間。お客様の暖かい拍手や喝采に包まれた、ステージ、客席が一体となった、本学メンバーにとっても素晴らしい時間を過ごすことができました。

公演終了後、興奮さめやらぬロビーでは、掲出された本学キャストの写真の前で、記念写真を撮っている方々や、なかなか帰ろうとしない方々。韓国スタッフから「とても素晴らしいステージと演奏にみんなビックリしています。」と教えていただき、皆さんに本公演を十分に楽しんでいただけたのだと、嬉しく思いました。また、ミュージカルフェスティバル実行委員長の裴(ペ)氏や、啓明大学アートセンター館長の金(キム)氏がロビーに駆けつけ、本学ミュージカルコースを絶賛していただく場面もあり、大成功であったことを実感しました。

ロビーも少し落ち着いてきた頃、2回目の公演を前に空模様が悪化。滝のような大粒の雨が降りだしました。アートセンター前の坂道は激流の川と化し、ロビーのドア下の隙間や、地下の楽屋にも水が入り込み、おまけにステージ横の搬入口は50cmほどの浸水。韓国スタッフが対応に追われる中「この雨では2回目の公演の集客は望めないなあ…」と心配する本学スタッフ。しかし、その心配をよそに、その豪雨の中、びしょ濡れになりながら会場に駆け込む多くの人々に、思わず感動を覚えました。(後で聞いた話では、地元でもめずらしい豪雨だったとのこと。)結局、2回目の公演も来場約1000名。1回目と同様、とても素敵な雨が流れました。終演時間にはすっかり雨も上がり、すがすがしい空気に包まれた会場を後にしました。

7月6日(月)は、フェスティバル授賞式が啓明大学アートセンターで開催されました。会場前には、アカデミー賞授賞式さながらのレッドカーペットが敷かれ、プレゼンターとして出席する韓国ミュージカル界のスター達をはじめ、アメリカ、ロシアのミュージカルスター達が続々と到着し、カーペットを通り会場内に消えて行きました。会場は約1700人の観客。19時30分に授賞式が始まり、はじめに本学ミュージカルコースがゲストとして、ダンスパフォーマンスを披露。本学公演の時と同じく、多くの歓声がわきました。続いて授賞式。次々と賞が発表される中、本学ミュージカルコースは見事「大邱国際ミュージカルフェスティバル大賞 特別賞」を受賞。代表でミュージカルコース3年神谷桃子さんが壇上に上がりました。司会者より感想を求められ「カムサハムニダー」。客席から割れるような喝采を浴びました。

今回の韓国公演を終え、国際ミュージカルフェスティバル実行委員長や啓明大学から、是非とも韓国の学生、本学の学生共演によるミュージカル公演を行いたいのご意向を受けました。近い将来、このプロジェクトが動き出しますが、次回の本学ミュージカルコースの韓国公演は日韓共同。どんな作品に仕上がるか楽しみです。



「美術セットに見る1980年代ミュージックシーン展」 ～ザ・ベストテンから日本レコード大賞まで～ が開催されました！

名古屋芸術大学アート&デザインセンターでは、2009年度企画展として、美術プロデューサーであり本学音楽部客員教授の三原康博氏が制作した1980年代のテレビや舞台の美術セットの数々を紹介する「美術セットに見る1980年代ミュージックシーン展」を、7月10日(金)～29日(水)の日程で開催しました。その関連イベントとして、7月17

日(金)に、「ザ・ベストテン The Talk」と題し、三原氏とテレビプロデューサー・山田修爾氏をお招きし、当時の音楽番組「ザ・ベストテン」を振り返っていただく対談を開催。進行役は名古屋芸術大学音楽学部・音楽文化創造学科ミュージカルコース教授の森泉博行氏が努め、3氏がさまざまなエピソードを語り合いました。

スリリングなスケジュールで番組を制作

「ザ・ベストテン」は、1978(昭和53年)1月12日～1989(平成元)年9月28日まで約12年間にわたり、毎週木曜の午後9時から1時間、TBSで生放送されていました。視聴者からのハガキによるリクエストを中心に、歌謡曲・ポップスのベストテン順位を毎週発表していた歌番組です。ベストテン入りした歌手がスタジオに来られない場合はカメラが追いかけて中継するといったスリルもあり、若者を中心に絶大な人気がありました。司会の黒柳徹子さんと久米宏アナウンサーの軽妙なおしゃべりと、番組の快いテンポが受けて、スタートから3年後の秋には41.9%の視聴率を記録。視聴者からのリクエストカードは総計9500万枚にのぼったといいます。その「ザ・ベストテン」で、12年間にわたりすべての放送の企画・演出に携わったディレクターが山田氏であり、10年の間、毎週、歌手の舞台となるセットを幾つも生み出した美術家が三原氏です。三原氏の仕事は、歌手と音楽のイメージに沿ってセットの模型を造り、その設計図に色や寸法などを具体的に指定し、現実のセットとしてスタジオ内に表現することです。自分の中のイメージを40分の1の立体模型を造ってプレゼンテーションするというスタイルは、演出家や照明家など各分野のスタッフに自分の意図を納得させるのに効果的な方法だということです。番組のために造った数々の模型が、今回、アート&デザインセンターで展示されています。

対談では、まず進行役の森泉教授が「『ザ・ベストテン』は、日本人のいままでの習慣であった聴く音楽から、“見る音楽”“参加する音楽”へ変えた番組です。そして、その『ザ・ベストテン』を創ったのがこのお二人です」と紹介しました。そして山田氏が、「木曜夜9時放送の生番組は、その前週の火曜から準備がスタートする」と、放送までの流れを説明。火曜日にリクエストのハガキが集計され、そしてレコードの売り上げ、ラジオ、有線放送などさまざまなデータが集まりベストテンが決まります。放送一週間前の木曜にはセットを造る楽曲が決まり、金曜には作家と台本の打ち合わせ、デザイナーとセットの打ち合わせが次々と行われます。三原氏は、「金曜と土曜が私に与えられた時間。イメージを膨らませてラフスケッチから模型を造り、それを実地製作図面にします。月曜には大道具会社に発注し、火曜の会議での意見により修正があることも。水曜の深夜にはスタジオ内にセットを組み立てられます。木曜の午前中にリハーサルがありますが、その間も微調整をします」ということで、1週も休まず、このようなスリリングな日々が続いたということです。



“ザ・ベストテン”を創った男たちの秘話、大公開

ベストテンに入ったどの歌手のセットを作るのかについて、山田氏は「その週の担当ディレクターとデザイナーが、どの歌手のセットを作るかを決めるのですが、松田聖子は75%のセット率。つまり4週のうち3週はセット有りということです。五木ひろしの場合は、その逆で…(笑)」と云えば、三原氏は「歌によってクリエイティビティが刺激されましたね。アイドルのかわいいセットを造りたい。松田聖子、ピンクレディ、男性では沢田研二とか、えこひいきしました」と笑います。また森泉教授が「スタジオに来られない歌手を追いかけて行って中継するのが番組の特色でした」と云えば、山田氏は「外国からの中継は歌番組で初めてだったのでは。ニューヨークで歌った桜田純子が最初でした。また外国との会話のやりとりがとても大変で、

このための回線を用意したり、電話線を引いたり…。また飛行機の着陸を遅らせたこともありました。1980年8月に松田聖子が『青い珊瑚礁』で初登場するときです。番組開始時間より早く彼女を乗せた飛行機が着きそうになり、それは困ったと。タラップを下りてくる彼女を撮れなくなるので何とかしてくれということで、全日空に頼みました。なんとかなりましたね～遅らせてくれました」と、当時を振り返ります。そのようなエピソードは数多くあり、ある時は東京タワーに珍しく雪が降ったということで急遽ペンギンを借りてきてセットにしたこともあるとか。また、道路で走りながら生中継をするなど、「強引なことをずいぶんした」と山田氏は言います。

山田氏は三原氏について「三原さんは能力のある人、その発想に追いつけないことも。自分の想像を超えるものができてくる。どのような言葉で自分の考えを伝えようかと悩むこともあったし、一言ですぐに伝わってすごいものを造ってくれたこともあります」と話します。一方、三原氏は「中継とセット、きれいなつくりと古色がかつたつくり、その対比と同じように、山田さんと私もぶつかり合いのなかで面白いものが生まれたと感じています」と応えます。また三原氏は「美術セットをつくるときの発想はどこから来るかとよく聞かれます。一言えることは、テーマに直結するようなアプローチは避けるということです。扇風機のデザインを考えるときにデパートの扇風機売り場には行くなと、学生時代に先生から言われたことがベースにあります。『ザ・ベストテン』では、歌手の声や曲、歌詞に見える世界の中に自分と共鳴するところをみつけてイメージし、一気に模型を造ります」と、発想の生まれる様子を話してくれました。

12年間続いた「ザ・ベストテン」は、どうして終了したのかを森泉教授が尋ねると、山田氏は「以前ほど視聴率を取れなくなったことと、歌手の気持ちも変わってきたことが挙げられます。当初、歌手はある目標を持ち、その途中経過でベストテンに入ってきたものですが、いつか番組に出ることが歌手の目標になってしまった。番組が目標化されると面白くなくなります。それに、いつか歌というのが、みんなで聴いていた“*Our Song*”だったのが、“*My Song*”になって、個人個人のものになってきたのが大きい」と話します。最後に森泉教授は、「『ザ・ベストテン』が終わって20年経ちますが、当時は曲と詞、ヴォーカリストが最も充実していた時代だったのではないかと聞いても、まったく古く感じない。今もまだ語り継がれ、いまだに聴きたいと思っている人たちがいる。魅力を発し続けている音楽番組です。そして、まさにこの二人が作ったのです」と話し、対談を締めくくりました。対談の後、学生からの「今のテレビ業界には何が必要か？」という質問に答え、三原氏は「生放送に尽きます。おもしろいもの、役に立つことは何かを考えること。生放送にテレビの使命があります。今の時代はさまざまなメディアを使い分けすればいいのでは」と話し、山田氏は「おもしろがって番組を作ることが大事。自分がおもしろがっていないとお客さんに伝わりません」と答えました。対談の間、学生らはメモを取ったり、3氏のユーモアのある掛け合いに笑ったり、終始、引き込まれるように聞き入っていました。



後援会授業料貸付事業

昨今の底の見えぬ不況の中で決して安いとは言えない芸術系大学の授業料は、家計を直撃しているのではないかと思います。こうした状況の中で、保護者が亡くなられたり病気になられたり、失業された家庭は大変だと思います。このような家庭の学生諸君の少しでも助けになればと考えて始められたのが、後援会の授業料貸付事業です。1993年にこの事業が始まってから、現在までに70数名の学生がこの事業の恩恵を受けています。

後援会員の皆さんが納められた会費を、この事業の基金としているため、いくつかの条件がありますが、次の貸付規程を読まれて、後援会の授業料貸付事業を活用していただけたらと思います。申込受付窓口は、各キャンパス教務学生課となっています。気楽に相談してみてください。

名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

(目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会(以下「後援会」という。)が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生(以下「貸与生」という。)と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

(資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1) 後援会学費貸付口座預金
- (2) この規程に基づく返還金
- (3) 寄付金・その他の収入

(貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

(貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

(審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

(貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

(貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

(申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生部教務学生課を窓口とする。

(1) 後援会貸付金借用願

(2) 貸付金返済計画書

(3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

(借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書(借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する)
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書(自動送金サービス用)(学籍を離れる時に提出するものとする)

(返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生部教務学生課を窓口とする。

(返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

(権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会(以下「本会」という)と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
 (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
 (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 (2) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任期は次のとおりとする。
 (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。
 (2) 監事は会務を監査する。
 (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
 (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
 (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
 (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

名古屋芸術大学後援会の弔意に関する内規

- 1 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
- 2 保護者(父・母)が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
- 3 役員の上親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
- 4 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
- 5 この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

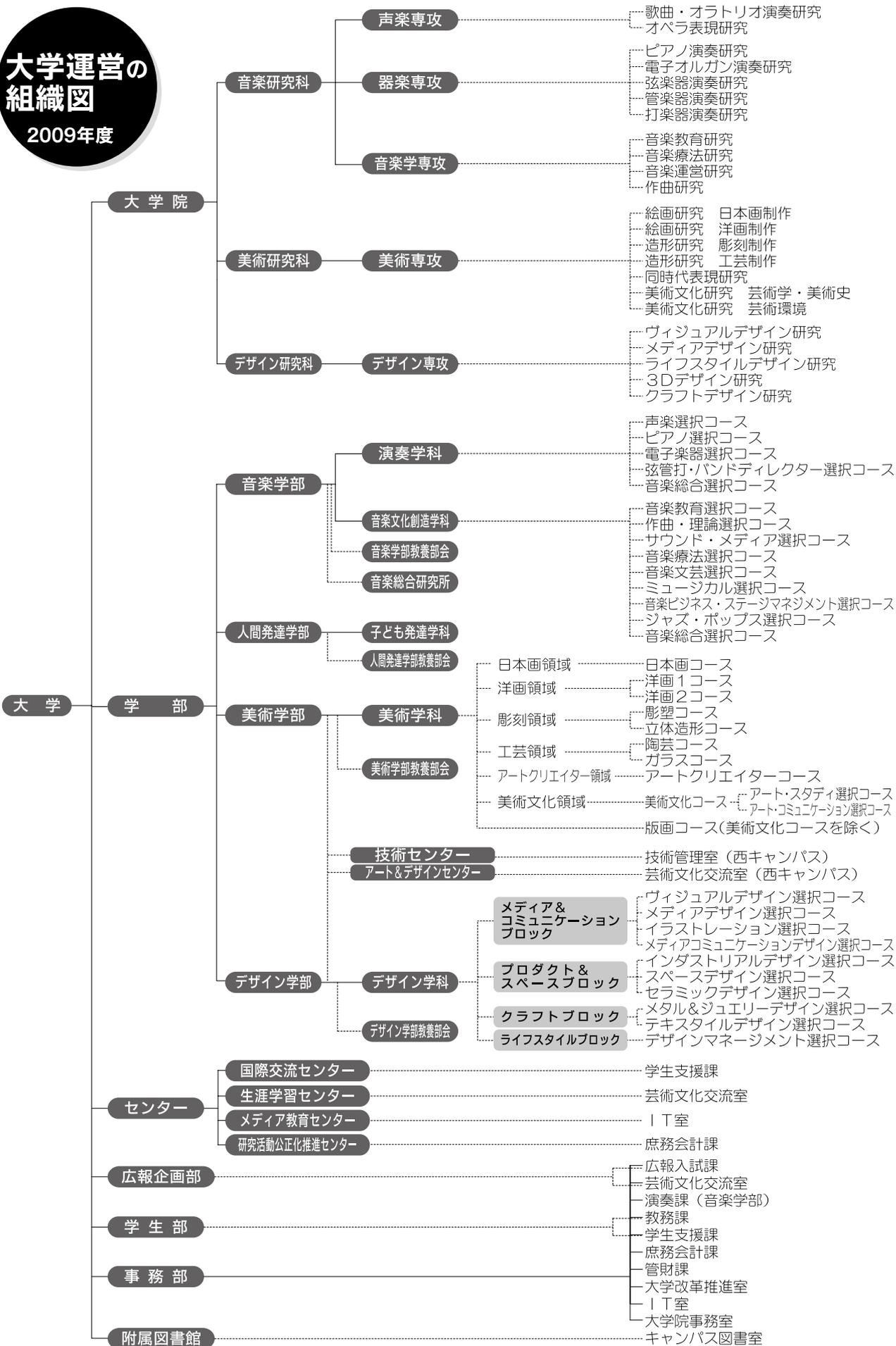
附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

- 1 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
- 2 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
- 3 この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

大学運営の組織図 2009年度



■「木祖セミナーハウス」をご利用ください

所在地：〒399-6203 長野県木曾郡木祖村大字小木曾4793

電話：0264-36-2570

アクセス：①マイカー利用—中央自動車道中津川インターより国道19号で90分走行、藪原より村道15分

②公共交通機関利用—JR中央西線藪原駅下車

バス利用25分「五月日(ごがつひ)」下車徒歩10分、

またはタクシー利用10分(要予約TEL. 0264-36-2403やぶはらタクシー)

利用できる期間：通年(ただし、12月30日～1月2日は休業)

利用できる方：①名古屋芸術大学ほか学校法人名古屋自由学院傘下の学校の学生・園児

②学校法人名古屋自由学院の教職員・その家族

③①の学校の卒業生・その家族

④その他特に使用が認められた方

(①の学生・園児の家族など)

(③④の方は、①②の方の紹介が必要です。)

利用料 (食事代は含まない)：学生 1,000円

園児 500円

教職員 1,500円

その他 2,000円

(同伴の3歳以上小学生以下は1,000円、2歳以下は無料)



食事：利用申し込みの際に予約してください。(料金は夕食1,500円、朝食500円)

利用申し込み手続き：下記申し込み先へ、電話で仮予約をしてください。その後の手続きは、そのときにご説明します。

付近の観光スポット：「こだまの森」(テニスコート・プール・パターゴルフ・ピクニックガーデン・多目的運動場・バーベキューハウス・巨大迷路・溪流釣りなど)、やぶはら高原スキー場、木曾福島、上松、寝覚の床、野麦峠、上高地、白骨温泉、乗鞍高原など

問い合わせ先・申し込み先：学校法人名古屋自由学院法人事務局総務部総務課(TEL. 0568-24-0311)

編集後記

昨年末の景気の冷え込みからなかなか抜け出せない世の中ですが、衆議員選挙も終わり自民党から民主党へ政権交代し、親が変わったら子も変わる、CHANGEの時です。いやな事はくよくよ考えず、頭の中をからっぽにして自分の考え方を一から変えてみることも大切だと思います。すると自ずから良い考えが思い浮かぶかもしれませんね。丸くなった背筋を伸ばして、大きく深呼吸をしてみましょう。気分もすっきりするかも…。ともあれ新しい総理大臣になったら、不安の少ない明るい時代にチェンジしていただきたいものですね。

広報委員長(副会長) 磯野郷子

◆発行 名古屋芸術大学後援会

〒481-8535

愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

TEL 0568-24-0325 FAX 0568-24-0326

◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会

◆表紙デザイン

本学デザイン学科学生 武藤理恵子

◆封筒デザイン

本学デザイン学科卒業生 福見光洋

◆発行日 2009年(平成21年)9月30日

